

科目名	日本語 I		開講年度	2021年度春学期				
担当者	松浦 幸祐、橋本 凜		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、日本語Ⅱと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内ものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題(例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題)について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出合う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	②クラス 清水正幸(2018)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ25+10 [初中級]』凡人社 ISBN-10 : 4893589431 ISBN-13 : 978-4893589439 ③クラス 清水正幸(2016)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ10 [中級]』凡人社 ISBN-10 : 489358913X ISBN-13 : 978-4893589132 ④クラス 奥田純子(2020)『読む力 初中級』くろしお出版 ISBN-10 : 4874248276 ISBN-13 : 978-4874248270							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	0	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っている必要があります。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの「トップページ」→「キャンパスライフ」→「教務情報」→「オフィスアワー」 <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備(60分)	1時間
第2回	1. 小テスト 2. 読解1	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 読解2	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 読解3	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. 読解4	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 読解5	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. 読解6	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 読解8	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 読解9	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. 読解10	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第13回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト① 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 確認テストのフィードバック 3. 読解11	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	1. 小テスト 2. 読解12	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 読解13	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. 読解14	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 読解15	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. 読解16 3. 読解のテーマに関するディスカッション	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 読解17	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第21回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト② 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト②のフィードバック 3. 読解18	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 読解19	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. 読解20	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 小テスト 2. 読解21 3. ディスカッション	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 小テスト 2. 読解22	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第29回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③ 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③のフィードバック 3. 読解23	事後学修: 定期試験に向けた準備	6時間

科目名	日本語 I		開講年度	2021年度春学期				
担当者	橋本 凜、尾崎 有以		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、日本語Ⅱと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内ものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題(例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題)について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出合う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	②クラス 清水正幸(2018)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ25+10 [初中級]』凡人社 ISBN-10 : 4893589431 ISBN-13 : 978-4893589439 ③クラス 清水正幸(2016)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ10 [中級]』凡人社 ISBN-10 : 489358913X ISBN-13 : 978-4893589132 ④クラス 奥田純子(2020)『読む力 初中級』くろしお出版 ISBN-10 : 4874248276 ISBN-13 : 978-4874248270							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	0	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っている必要があります。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの「トップページ」→「キャンパスライフ」→「教務情報」→「オフィスアワー」 <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備(60分)	1時間
第2回	1. 小テスト 2. 読解1	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 読解2	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 読解3	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. 読解4	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 読解5	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. 読解6	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 読解8	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 読解9	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. 読解10	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第13回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト① 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 確認テストのフィードバック 3. 読解11	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	1. 小テスト 2. 読解12	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 読解13	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. 読解14	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 読解15	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. 読解16 3. 読解のテーマに関するディスカッション	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 読解17	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第21回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト② 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト②のフィードバック 3. 読解18	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 読解19	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. 読解20	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 小テスト 2. 読解21 3. ディスカッション	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 小テスト 2. 読解22	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第29回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③ 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③のフィードバック 3. 読解23	事後学修: 定期試験に向けた準備	6時間

科目名	日本語 I		開講年度	2021年度春学期				
担当者	片岡 浩史、内田 元一		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、日本語Ⅱと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内ものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題(例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題)について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出合う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	②クラス 清水正幸(2018)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ25+10 [初中級]』凡人社 ISBN-10 : 4893589431 ISBN-13 : 978-4893589439 ③クラス 清水正幸(2016)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ10 [中級]』凡人社 ISBN-10 : 489358913X ISBN-13 : 978-4893589132 ④クラス 奥田純子(2020)『読む力 初中級』くろしお出版 ISBN-10 : 4874248276 ISBN-13 : 978-4874248270							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	0	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っている必要があります。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、確認テストが学期中に3回～4回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの「トップページ」→「キャンパスライフ」→「教務情報」→「オフィスアワー」 <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備(60分)	1時間
第2回	1. 小テスト 2. 読解1	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 読解2	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 読解3	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. 読解4	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 読解5	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. 読解6	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 読解8	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 読解9	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. 読解10	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第13回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト① 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 確認テストのフィードバック 3. 読解11	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	1. 小テスト 2. 読解12	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 読解13	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. 読解14	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 読解15	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. 読解16 3. 読解のテーマに関するディスカッション	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 読解17	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第21回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト② 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト②のフィードバック 3. 読解18	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 読解19	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. 読解20	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 小テスト 2. 読解21 3. ディスカッション	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 小テスト 2. 読解22	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第29回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③ 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③のフィードバック 3. 読解23	事後学修: 定期試験に向けた準備	6時間

科目名	日本語 I			開講年度	2021年度春学期			
担当者	小亀 拓也			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	2単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、日本語Ⅱと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内ものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題(例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題)について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出合う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	②クラス 清水正幸(2018)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ25+10 [初中級]』凡人社 ISBN-10 : 4893589431 ISBN-13 : 978-4893589439 ③クラス 清水正幸(2016)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ10 [中級]』凡人社 ISBN-10 : 489358913X ISBN-13 : 978-4893589132 ④クラス 奥田純子(2020)『読む力 初中級』くろしお出版 ISBN-10 : 4874248276 ISBN-13 : 978-4874248270							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	0	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っている必要があります。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。また、確認テストが学期中に3回~4回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの「トップページ」→「キャンパスライフ」→「教務情報」→「オフィスアワー」 <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備(60分)	1時間
第2回	1. 小テスト 2. 読解1	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 読解2	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 読解3	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. 読解4	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 読解5	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. 読解6	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 読解8	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 読解9	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. 読解10	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第13回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト① 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 確認テストのフィードバック 3. 読解11	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	1. 小テスト 2. 読解12	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 読解13	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. 読解14	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 読解15	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. 読解16 3. 読解のテーマに関するディスカッション	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 読解17	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第21回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト② 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト②のフィードバック 3. 読解18	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 読解19	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. 読解20	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 小テスト 2. 読解21 3. ディスカッション	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 小テスト 2. 読解22	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第29回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③ 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③のフィードバック 3. 読解23	事後学修: 定期試験に向けた準備	6時間

科目名	日本語 I		開講年度	2021年度春学期				
担当者	井ノ口 智佳		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、日本語Ⅱと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内ものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使い、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題(例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題)について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出合う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	②クラス 清水正幸(2018)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ25+10 [初中級]』凡人社 ISBN-10 : 4893589431 ISBN-13 : 978-4893589439 ③クラス 清水正幸(2016)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ10 [中級]』凡人社 ISBN-10 : 489358913X ISBN-13 : 978-4893589132 ④クラス 奥田純子(2020)『読む力 初中級』くろしお出版 ISBN-10 : 4874248276 ISBN-13 : 978-4874248270							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	0	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っている必要があります。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの「トップページ」→「キャンパスライフ」→「教務情報」→「オフィスアワー」 <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備(60分)	1時間
第2回	1. 小テスト 2. 読解1	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 読解2	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 読解3	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. 読解4	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 読解5	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. 読解6	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 読解8	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 読解9	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. 読解10	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第13回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト① 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 確認テストのフィードバック 3. 読解11	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	1. 小テスト 2. 読解12	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 読解13	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. 読解14	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 読解15	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. 読解16 3. 読解のテーマに関するディスカッション	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 読解17	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第21回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト② 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト②のフィードバック 3. 読解18	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 読解19	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. 読解20	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 小テスト 2. 読解21 3. ディスカッション	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 小テスト 2. 読解22	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第29回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③ 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③のフィードバック 3. 読解23	事後学修: 定期試験に向けた準備	6時間

科目名	日本語 I		開講年度	2021年度秋学期				
担当者	井ノ口 智佳、伊澤 明香		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅲと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内ものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要な事実を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題(例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題)について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出合う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	クラスによって教科書が異なります。授業の中で指示しますので、間違えないように気を付けてください。 ①クラス 山崎佳子(2008)『日本語初級(1)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883194760 ISBN-13 : 978-4883194766 山崎佳子(2009)『日本語初級(2)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883195074 ISBN-13 : 978-4883195077 ②クラス 清水正幸(2018)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ25+10 [初中級]』凡人社 ISBN-10 : 4893589431 ISBN-13 : 978-4893589439 ③クラス 清水正幸(2016)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ10 [中級]』凡人社 ISBN-10 : 489358913X ISBN-13 : 978-4893589132 ④クラス 奥田純子(2020)『読む力 初中級』くろしお出版 ISBN-10 : 4874248276 ISBN-13 : 978-4874248270							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取り組み(%)	0	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。また、確認テストが学期中に3回〜4回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	1. 小テスト 2. 読解1	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 読解2	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 読解3	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. 読解4	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 読解5	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. 読解6	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 読解8	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 読解9	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. 読解10	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第13回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト① 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 確認テストのフィードバック 3. 読解11	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	1. 小テスト 2. 読解12	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 読解13	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. 読解14	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 読解15	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. 読解16 3. 読解のテーマに関するディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 読解17	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第21回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト② 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト②のフィードバック 3. 読解18	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 読解19	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. 読解20	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 小テスト 2. 読解21 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 小テスト 2. 読解22	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第29回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③ 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③のフィードバック 3. 読解23	事後学修:定期試験に向けた準備	6時間

科目名	日本語 I		開講年度	2021年度秋学期				
担当者	松浦 幸祐、小谷 真千代		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、日本語Ⅱと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内ものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題(例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題)について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出合う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	②クラス 清水正幸(2018)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ25+10 [初中級]』凡人社 ISBN-10 : 4893589431 ISBN-13 : 978-4893589439 ③クラス 清水正幸(2016)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ10 [中級]』凡人社 ISBN-10 : 489358913X ISBN-13 : 978-4893589132 ④クラス 奥田純子(2020)『読む力 初中級』くろしお出版 ISBN-10 : 4874248276 ISBN-13 : 978-4874248270							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	0	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っている必要があります。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの「トップページ」→「キャンパスライフ」→「教務情報」→「オフィスアワー」 <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備(60分)	1時間
第2回	1. 小テスト 2. 読解1	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 読解2	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 読解3	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. 読解4	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 読解5	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. 読解6	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 読解8	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 読解9	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. 読解10	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第13回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト① 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 確認テストのフィードバック 3. 読解11	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	1. 小テスト 2. 読解12	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 読解13	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. 読解14	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 読解15	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. 読解16 3. 読解のテーマに関するディスカッション	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 読解17	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第21回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト② 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト②のフィードバック 3. 読解18	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 読解19	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. 読解20	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 小テスト 2. 読解21 3. ディスカッション	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 小テスト 2. 読解22	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第29回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③ 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③のフィードバック 3. 読解23	事後学修: 定期試験に向けた準備	6時間

科目名	日本語 I		開講年度	2021年度秋学期				
担当者	橋本 凜、茶園 直人		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅲと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するといえることができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内ものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要な点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題(例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題)について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出合う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	クラスによって教科書が異なります。授業の中で指示しますので、間違えないように気を付けてください。 ①クラス 山崎佳子(2008)『日本語初級(1)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883194760 ISBN-13 : 978-4883194766 山崎佳子(2009)『日本語初級(2)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883195074 ISBN-13 : 978-4883195077 ②クラス 清水正幸(2018)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ25+10 [初中級]』凡人社 ISBN-10 : 4893589431 ISBN-13 : 978-4893589439 ③クラス 清水正幸(2016)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ10 [中級]』凡人社 ISBN-10 : 489358913X ISBN-13 : 978-4893589132 ④クラス 奥田純子(2020)『読む力 初中級』くろしお出版 ISBN-10 : 4874248276 ISBN-13 : 978-4874248270							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取り組み(%)	0	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	1. 小テスト 2. 読解1	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 読解2	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 読解3	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. 読解4	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 読解5	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. 読解6	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 読解8	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 読解9	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. 読解10	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第13回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト① 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 確認テストのフィードバック 3. 読解11	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	1. 小テスト 2. 読解12	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 読解13	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. 読解14	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 読解15	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. 読解16 3. 読解のテーマに関するディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 読解17	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第21回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト② 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト②のフィードバック 3. 読解18	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 読解19	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. 読解20	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 小テスト 2. 読解21 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 小テスト 2. 読解22	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第29回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③ 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③のフィードバック 3. 読解23	事後学修:定期試験に向けた準備	6時間

科目名	日本語 I			開講年度	2021年度秋学期			
担当者	片岡 浩史、真下 恭子			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	2単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅲと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するといえることができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内ものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使い、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題(例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題)について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出合う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	クラスによって教科書が異なります。授業の中で指示しますので、間違えないように気を付けてください。 ①クラス 山崎佳子(2008)『日本語初級(1)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883194760 ISBN-13 : 978-4883194766 山崎佳子(2009)『日本語初級(2)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883195074 ISBN-13 : 978-4883195077 ②クラス 清水正幸(2018)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ25+10 [初中級]』凡人社 ISBN-10 : 4893589431 ISBN-13 : 978-4893589439 ③クラス 清水正幸(2016)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ10 [中級]』凡人社 ISBN-10 : 489358913X ISBN-13 : 978-4893589132 ④クラス 奥田純子(2020)『読む力 初中級』くろしお出版 ISBN-10 : 4874248276 ISBN-13 : 978-4874248270							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取り組み(%)	0	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	1. 小テスト 2. 読解1	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 読解2	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 読解3	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. 読解4	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 読解5	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. 読解6	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 読解8	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 読解9	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. 読解10	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第13回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト① 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 確認テストのフィードバック 3. 読解11	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	1. 小テスト 2. 読解12	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 読解13	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. 読解14	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 読解15	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. 読解16 3. 読解のテーマに関するディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 読解17	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第21回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト② 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト②のフィードバック 3. 読解18	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 読解19	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. 読解20	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 小テスト 2. 読解21 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 小テスト 2. 読解22	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第29回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③ 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③のフィードバック 3. 読解23	事後学修:定期試験に向けた準備	6時間

科目名	日本語Ⅱ			開講年度	2021年度春学期			
担当者	小谷 真千代、橋本 凜			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	2単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅳと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞をつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦勞しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題(自分・家族・買い物・地理・仕事)など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	クラスによって使用する教科書が違いますので、買うときは間違えないように気を付けてください。 ①クラス 山崎良子(2008)『日本語初級(1)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883194760 ISBN-13 : 978-4883194766 山崎良子(2009)『日本語初級(2)大地—メインテキスト』 ISBN-10 : 4883195074 ISBN-13 : 978-4883195077 ②クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547 ③クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547 ④クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』アルク ISBN-10 : 4757418558 ISBN-13 : 978-4757418554							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	0	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っている必要があります。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5時間
第2回	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法1-3 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法7-8 unit02 文法9 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法10-12 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法19-21 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法26-28 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第8回	1. 確認テスト① 2. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法33-36 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法34-37 3. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法42-45 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法50 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	1. 小テスト 2. unit06 文法51-53 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法58-61 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	1. Unit6までの復習 2. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法64-67 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法72-75 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法76-78 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法83-85 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法86-89 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法93-95 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法103-105 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法110 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	unit1-10総まとめ	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 確認テスト③のフィードバック 2. 文のタイプ(1)	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 文のタイプ(3) 2. 実践問題(2)	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 文のタイプ(5) 2. 実践問題(4)	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	1. 実践問題(6) 2. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	1. 実践問題(8) 2. リスニング	事後学修: 定期試験の準備(120分)	4時間

科目名	日本語Ⅱ			開講年度	2021年度春学期			
担当者	真下 恭子、片岡 浩史			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	2単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅳと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞をつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦勞しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題(自分・家族・買い物・地理・仕事)など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	クラスによって使用する教科書が違いますので、買うときは間違えないように気を付けてください。 ①クラス 山崎良子(2008)『日本語初級(1)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883194760 ISBN-13 : 978-4883194766 山崎良子(2009)『日本語初級(2)大地—メインテキスト』 ISBN-10 : 4883195074 ISBN-13 : 978-4883195077 ②クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547 ③クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547 ④クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』アルク ISBN-10 : 4757418558 ISBN-13 : 978-4757418554							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	0	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っている必要があります。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5時間
第2回	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法1-3 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法7-8 unit02 文法9 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法10-12 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法19-21 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法26-28 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第8回	1. 確認テスト① 2. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法33-36 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法34-37 3. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法42-45 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法50 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	1. 小テスト 2. unit06 文法51-53 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法58-61 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	1. Unit6までの復習 2. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法64-67 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法72-75 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法76-78 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法83-85 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法86-89 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法93-95 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法103-105 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法110 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	unit1-10総まとめ	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 確認テスト③のフィードバック 2. 文のタイプ(1)	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 文のタイプ(3) 2. 実践問題(2)	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 文のタイプ(5) 2. 実践問題(4)	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	1. 実践問題(6) 2. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	1. 実践問題(8) 2. リスニング	事後学修: 定期試験の準備(120分)	4時間

科目名	日本語Ⅱ			開講年度	2021年度春学期			
担当者	小亀 拓也、仲本 早紀			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	2単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅳと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦勞しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題(自分・家族・買い物・地理・仕事)など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	クラスによって使用する教科書が違いますので、買うときは間違えないように気を付けてください。 ①クラス 山崎良子(2008)『日本語初級(1)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883194760 ISBN-13 : 978-4883194766 山崎良子(2009)『日本語初級(2)大地—メインテキスト』 ISBN-10 : 4883195074 ISBN-13 : 978-4883195077 ②クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547 ③クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547 ④クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』アルク ISBN-10 : 4757418558 ISBN-13 : 978-4757418554							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・ 取り組み(%)	0	小テスト・理解度テ ストなど(%)	0	レポートなど授業 外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っている必要があります。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5時間
第2回	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法1-3 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法7-8 unit02 文法9 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法10-12 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法19-21 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法26-28 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第8回	1. 確認テスト① 2. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法33-36 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法34-37 3. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法42-45 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法50 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	1. 小テスト 2. unit06 文法51-53 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法58-61 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	1. Unit6までの復習 2. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法64-67 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法72-75 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法76-78 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法83-85 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法86-89 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法93-95 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法103-105 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法110 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	unit1-10総まとめ	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 確認テスト③のフィードバック 2. 文のタイプ(1)	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 文のタイプ(3) 2. 実践問題(2)	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 文のタイプ(5) 2. 実践問題(4)	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	1. 実践問題(6) 2. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	1. 実践問題(8) 2. リスニング	事後学修: 定期試験の準備(120分)	4時間

科目名	日本語Ⅱ			開講年度	2021年度春学期			
担当者	仲本 早紀、内田 元一			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	2単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅳと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞をつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦勞しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題(自分・家族・買い物・地理・仕事)など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	クラスによって使用する教科書が違いますので、買うときは間違えないように気を付けてください。 ①クラス 山崎良子(2008)『日本語初級(1)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883194760 ISBN-13 : 978-4883194766 山崎良子(2009)『日本語初級(2)大地—メインテキスト』 ISBN-10 : 4883195074 ISBN-13 : 978-4883195077 ②クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547 ③クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547 ④クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』アルク ISBN-10 : 4757418558 ISBN-13 : 978-4757418554							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・ 取り組み(%)	0	小テスト・理解度テ ストなど(%)	0	レポートなど授業 外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っている必要があります。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5時間
第2回	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法1-3 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法7-8 unit02 文法9 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法10-12 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法19-21 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法26-28 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第8回	1. 確認テスト① 2. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法33-36 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法34-37 3. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法42-45 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法50 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	1. 小テスト 2. unit06 文法51-53 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法58-61 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	1. Unit6までの復習 2. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法64-67 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法72-75 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法76-78 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法83-85 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法86-89 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法93-95 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法103-105 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法110 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	unit1-10総まとめ	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 確認テスト③のフィードバック 2. 文のタイプ(1)	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 文のタイプ(3) 2. 実践問題(2)	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 文のタイプ(5) 2. 実践問題(4)	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	1. 実践問題(6) 2. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	1. 実践問題(8) 2. リスニング	事後学修: 定期試験の準備(120分)	4時間

科目名	日本語Ⅱ			開講年度	2021年度春学期			
担当者	茶園 直人、伊澤 明香			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	2単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅳと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞をつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦勞しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題(自分・家族・買い物・地理・仕事)など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	クラスによって使用する教科書が違いますので、買うときは間違えないように気を付けてください。 ①クラス 山崎良子(2008)『日本語初級(1)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883194760 ISBN-13 : 978-4883194766 山崎良子(2009)『日本語初級(2)大地—メインテキスト』 ISBN-10 : 4883195074 ISBN-13 : 978-4883195077 ②クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547 ③クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547 ④クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』アルク ISBN-10 : 4757418558 ISBN-13 : 978-4757418554							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	0	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っている必要があります。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5時間
第2回	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法1-3 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法7-8 unit02 文法9 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法10-12 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法19-21 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法26-28 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第8回	1. 確認テスト① 2. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法33-36 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法34-37 3. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法42-45 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法50 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	1. 小テスト 2. unit06 文法51-53 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法58-61 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	1. Unit6までの復習 2. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法64-67 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法72-75 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法76-78 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法83-85 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法86-89 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法93-95 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法103-105 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法110 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	unit1-10総まとめ	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 確認テスト③のフィードバック 2. 文のタイプ(1)	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 文のタイプ(3) 2. 実践問題(2)	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 文のタイプ(5) 2. 実践問題(4)	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	1. 実践問題(6) 2. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	1. 実践問題(8) 2. リスニング	事後学修: 定期試験の準備(120分)	4時間

科目名	日本語Ⅱ			開講年度	2021年度秋学期			
担当者	松浦 幸祐、伊澤 明香			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	2単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅳと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦勞しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題(自分・家族・買い物・地理・仕事)など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	クラスによって使用する教科書が違いますので、買うときは間違えないように気を付けてください。 ①クラス 山崎良子(2008)『日本語初級(1)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883194760 ISBN-13 : 978-4883194766 山崎良子(2009)『日本語初級(2)大地—メインテキスト』 ISBN-10 : 4883195074 ISBN-13 : 978-4883195077 ②クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547 ③クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547 ④クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』アルク ISBN-10 : 4757418558 ISBN-13 : 978-4757418554							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・ 取り組み(%)	0	小テスト・理解度テ ストなど(%)	0	レポートなど授業 外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っている必要があります。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5時間
第2回	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法1-3 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法7-8 unit02 文法9 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法10-12 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法19-21 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法26-28 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第8回	1. 確認テスト① 2. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法33-36 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法34-37 3. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法42-45 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法50 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	1. 小テスト 2. unit06 文法51-53 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法58-61 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	1. Unit6までの復習 2. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法64-67 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法72-75 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法76-78 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法83-85 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法86-89 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法93-95 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法103-105 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法110 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	unit1-10総まとめ	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 確認テスト③のフィードバック 2. 文のタイプ(1)	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 文のタイプ(3) 2. 実践問題(2)	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 文のタイプ(5) 2. 実践問題(4)	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	1. 実践問題(6) 2. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	1. 実践問題(8) 2. リスニング	事後学修: 定期試験の準備(120分)	4時間

科目名	日本語Ⅱ			開講年度	2021年度秋学期			
担当者	井ノ口 智佳、小谷 真千代			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	2単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅳと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦勞しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題(自分・家族・買い物・地理・仕事)など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	クラスによって使用する教科書が違いますので、買うときは間違えないように気を付けてください。 ①クラス 山崎良子(2008)『日本語初級(1)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883194760 ISBN-13 : 978-4883194766 山崎良子(2009)『日本語初級(2)大地—メインテキスト』 ISBN-10 : 4883195074 ISBN-13 : 978-4883195077 ②クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547 ③クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547 ④クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』アルク ISBN-10 : 4757418558 ISBN-13 : 978-4757418554							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	0	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っている必要があります。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5時間
第2回	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法1-3 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法7-8 unit02 文法9 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法10-12 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法19-21 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法26-28 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第8回	1. 確認テスト① 2. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法33-36 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法34-37 3. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法42-45 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法50 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	1. 小テスト 2. unit06 文法51-53 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法58-61 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	1. Unit6までの復習 2. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法64-67 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法72-75 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法76-78 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法83-85 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法86-89 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法93-95 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法103-105 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法110 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	unit1-10総まとめ	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 確認テスト③のフィードバック 2. 文のタイプ(1)	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 文のタイプ(3) 2. 実践問題(2)	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 文のタイプ(5) 2. 実践問題(4)	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	1. 実践問題(6) 2. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	1. 実践問題(8) 2. リスニング	事後学修: 定期試験の準備(120分)	4時間

科目名	日本語Ⅱ			開講年度	2021年度秋学期			
担当者	茶園 直人			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	2単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	<p>本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅳと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。</p>							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	<p>本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。</p>							
学修の到達目標	<p>① 非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ② 「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③ もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦勞しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題(自分・家族・買い物・地理・仕事)など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。</p>							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	<p>クラスによって使用する教科書が違いますので、買うときは間違えないように気を付けてください。</p> <p>①クラス 山崎良子(2008)『日本語初級(1)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883194760 ISBN-13 : 978-4883194766 山崎良子(2009)『日本語初級(2)大地—メインテキスト』 ISBN-10 : 4883195074 ISBN-13 : 978-4883195077</p> <p>②クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547</p> <p>③クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547</p> <p>④クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』アルク ISBN-10 : 4757418558 ISBN-13 : 978-4757418554</p>							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・ 取り組み(%)	0	小テスト・理解度テ ストなど(%)	0	レポートなど授業 外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	<p>文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っている必要があります。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、確認テストが学期中に3回～4回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。</p>							
オフィスアワー	<p>各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html</p> <p>授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。</p>							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5時間
第2回	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法1-3 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法7-8 unit02 文法9 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法10-12 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法19-21 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法26-28 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第8回	1. 確認テスト① 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法33-36 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法34-37 3. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法42-45 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法50 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	1. 小テスト 2. unit06 文法51-53 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法58-61 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	1. Unit6までの復習 2. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法64-67 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法72-75 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法76-78 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法83-85 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法86-89 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法93-95 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法103-105 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法110 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	unit1-10総まとめ	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 確認テスト③のフィードバック 2. 文のタイプ(1)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 文のタイプ(3) 2. 実践問題(2)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 文のタイプ(5) 2. 実践問題(4)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	1. 実践問題(6) 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	1. 実践問題(8) 2. リスニング	事後学修:定期試験の準備(120分)	4時間

科目名	日本語Ⅱ			開講年度	2021年度秋学期			
担当者	片岡 浩史、小亀 拓也			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	2単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅳと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞をつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦勞しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題(自分・家族・買い物・地理・仕事)など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	クラスによって使用する教科書が違いますので、買うときは間違えないように気を付けてください。 ①クラス 山崎良子(2008)『日本語初級(1)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883194760 ISBN-13 : 978-4883194766 山崎良子(2009)『日本語初級(2)大地—メインテキスト』 ISBN-10 : 4883195074 ISBN-13 : 978-4883195077 ②クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547 ③クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547 ④クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』アルク ISBN-10 : 4757418558 ISBN-13 : 978-4757418554							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・ 取り組み(%)	0	小テスト・理解度テ ストなど(%)	0	レポートなど授業 外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っている必要があります。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5時間
第2回	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法1-3 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法7-8 unit02 文法9 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法10-12 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法19-21 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法26-28 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第8回	1. 確認テスト① 2. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法33-36 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法34-37 3. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法42-45 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法50 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	1. 小テスト 2. unit06 文法51-53 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法58-61 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	1. Unit6までの復習 2. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法64-67 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法72-75 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法76-78 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法83-85 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法86-89 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法93-95 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法103-105 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法110 3. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	unit1-10総まとめ	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 確認テスト③のフィードバック 2. 文のタイプ(1)	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 文のタイプ(3) 2. 実践問題(2)	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 文のタイプ(5) 2. 実践問題(4)	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	1. 実践問題(6) 2. リスニング	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	1. 実践問題(8) 2. リスニング	事後学修: 定期試験の準備(120分)	4時間

科目名	日本語Ⅲ			開講年度	2021年度秋学期			
担当者	仲本 早紀、加藤 登紀			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	2単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、日本語Ⅳの学修と合わせて、大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、特に大学での専門学修に必要な読みの能力の基礎を築く。そのために一般書のみならずさまざまな話題について書かれた文章の内容把握、筆者の意図把握、例と意見の区別など、読む上での着眼点の着目等、読む活動に必要なスキルを身につけることを目指す。また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内ものは、十分に主題を理解できる。毎日や普段の仕事上の話題について、簡単な事実関係の情報を理解できる。もし、だいたい耳慣れた発音で、明瞭に話されていけば、一般的なメッセージも具体的な詳細も理解できる。 ②一連の別々になっている要素を一つの流れに結びつけることによって、自分の関心が及ぶ身近な話題について結束性のある簡単なテキストを書くことができる。 ③自分の関心のあるさまざまな話題のうちのどれかについて、ほどほどの流暢さで、ある程度の長さの、簡単な記述やプレゼンテーションができる。 ④自分の関心や専門分野に関連した、身近な日常のおよび非日常的な問題について、自信を持って話し合いをすることができる。情報を交換、チェックし、確認できる。あまり日常的でない状況にも対処し、問題の在処を説明できる。映画、書籍、音楽などの抽象的な文化的話題について、自分の考えを表現できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議/グループワーク							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	竹田悦子 他(2011)『読む力 中級』くろしお出版 ISBN-10 : 4874245188 ISBN-13 : 978-4874245187							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	5	小テスト・理解度テストなど(%)	5	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	30	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	中級レベルの文法と語彙を学ぶと、日常生活で話される日本語がかなり理解できるようになります。着実に覚えていくことが大切です。特に語彙は聞いて理解できるように、耳から覚えていくようにしましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。また、年に2回しかないJLPTを必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	1. 小テスト 2. 読解	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 読解	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

科目名	日本語Ⅲ			開講年度	2021年度秋学期			
担当者	小亀 拓也、尾崎 有以			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	2単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、日本語Ⅳの学修と合わせて、大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、特に大学での専門学修に必要な読みの能力の基礎を築く。そのために一般書のさまざまな話題について書かれた文章の内容把握、筆者の意図把握、例と意見の区別など、読む上での着眼点の着目等、読む活動に必要なスキルを身につけることを目指す。また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内ものは、十分に主題を理解できる。毎日や普段の仕事上の話題について、簡単な事実関係の情報を理解できる。もし、だいたい耳慣れた発音で、明瞭に話されていけば、一般的なメッセージも具体的な詳細も理解できる。 ②一連の別々になっている要素を一つの流れに結びつけることによって、自分の関心が及ぶ身近な話題について結束性のある簡単なテキストを書くことができる。 ③自分の関心のあるさまざまな話題のうちのどれかについて、ほどほどの流暢さで、ある程度の長さの、簡単な記述やプレゼンテーションができる。 ④自分の関心や専門分野に関連した、身近な日常のおよび非日常的な問題について、自信を持って話し合いをすることができる。情報を交換、チェックし、確認できる。あまり日常的でない状況にも対処し、問題の在処を説明できる。映画、書籍、音楽などの抽象的な文化的話題について、自分の考えを表現できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議/グループワーク							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	竹田悦子 他(2011)『読む力 中級』くろしお出版 ISBN-10 : 4874245188 ISBN-13 : 978-4874245187							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	5	小テスト・理解度テストなど(%)	5	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	30	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	中級レベルの文法と語彙を学ぶと、日常生活で話される日本語がかなり理解できるようになります。着実に覚えていくことが大切です。特に語彙は聞いて理解できるように、耳から覚えていくようにしましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。また、年に2回しかないJLPTを必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	1. 小テスト 2. 読解	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 読解	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

科目名	日本語Ⅲ			開講年度	2021年度秋学期			
担当者	松浦 幸祐、井ノ口 智佳			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	2単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、日本語Ⅳの学修と合わせて、大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、特に大学での専門学修に必要な読みの能力の基礎を築く。そのために一般書のみならずさまざまな話題について書かれた文章の内容把握、筆者の意図把握、例と意見の区別など、読む上での着眼点の着目等、読む活動に必要なスキルを身につけることを目指す。また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内ものは、十分に主題を理解できる。毎日や普段の仕事上の話題について、簡単な事実関係の情報を理解できる。もし、だいたい耳慣れた発音で、明瞭に話されていけば、一般的なメッセージも具体的な詳細も理解できる。 ②一連の別々になっている要素を一つの流れに結びつけることによって、自分の関心が及ぶ身近な話題について結束性のある簡単なテキストを書くことができる。 ③自分の関心のあるさまざまな話題のうちのどれかについて、ほどほどの流暢さで、ある程度の長さの、簡単な記述やプレゼンテーションができる。 ④自分の関心や専門分野に関連した、身近な日常のおよび非日常的な問題について、自信を持って話し合いをすることができる。情報を交換、チェックし、確認できる。あまり日常的でない状況にも対処し、問題の在処を説明できる。映画、書籍、音楽などの抽象的な文化的話題について、自分の考えを表現できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議/グループワーク							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	竹田悦子 他(2011)『読む力 中級』くろしお出版 ISBN-10 : 4874245188 ISBN-13 : 978-4874245187							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	5	小テスト・理解度テストなど(%)	5	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	30	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	中級レベルの文法と語彙を学ぶと、日常生活で話される日本語がかなり理解できるようになります。着実に覚えていくことが大切です。特に語彙は聞いて理解できるように、耳から覚えていくようにしましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。また、年に2回しかないJLPTを必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	1. 小テスト 2. 読解	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 読解	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

科目名	日本語Ⅲ			開講年度	2021年度秋学期			
担当者	内田 元一、橋本 凜			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	2単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、日本語Ⅳの学修と合わせて、大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、特に大学での専門学修に必要な読みの能力の基礎を築く。そのために一般書のみならずさまざまな話題について書かれた文章の内容把握、筆者の意図把握、例と意見の区別など、読む上での着眼点の着目等、読む活動に必要なスキルを身につけることを目指す。また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内ものは、十分に主題を理解できる。毎日や普段の仕事上の話題について、簡単な事実関係の情報を理解できる。もし、だいたい耳慣れた発音で、明瞭に話されていけば、一般的なメッセージも具体的な詳細も理解できる。 ②一連の別々になっている要素を一つの流れに結びつけることによって、自分の関心が及ぶ身近な話題について結束性のある簡単なテキストを書くことができる。 ③自分の関心のあるさまざまな話題のうちのどれかについて、ほどほどの流暢さで、ある程度の長さの、簡単な記述やプレゼンテーションができる。 ④自分の関心や専門分野に関連した、身近な日常のおよび非日常的な問題について、自信を持って話し合いをすることができる。情報を交換、チェックし、確認できる。あまり日常的でない状況に対処し、問題の在処を説明できる。映画、書籍、音楽などの抽象的な文化的話題について、自分の考えを表現できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議/グループワーク							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	竹田悦子 他(2011)『読む力 中級』くろしお出版 ISBN-10 : 4874245188 ISBN-13 : 978-4874245187							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	5	小テスト・理解度テストなど(%)	5	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	30	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	中級レベルの文法と語彙を学ぶと、日常生活で話される日本語がかなり理解できるようになります。着実に覚えていくことが大切です。特に語彙は聞いて理解できるように、耳から覚えていくようにしましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。また、年に2回しかないJLPTを必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	1. 小テスト 2. 読解	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 読解	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

科目名	日本語Ⅲ			開講年度	2021年度秋学期			
担当者	茶園 直人、笹谷 志保			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	2単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、日本語Ⅳの学修と合わせて、大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、特に大学での専門学修に必要な読みの能力の基礎を築く。そのために一般書のみならずさまざまな話題について書かれた文章の内容把握、筆者の意図把握、例と意見の区別など、読む上での着眼点の着目等、読む活動に必要なスキルを身につけることを目指す。また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内ものは、十分に主題を理解できる。毎日や普段の仕事上の話題について、簡単な事実関係の情報を理解できる。もし、だいたい耳慣れた発音で、明瞭に話されていけば、一般的なメッセージも具体的な詳細も理解できる。 ②一連の別々になっている要素を一つの流れに結びつけることによって、自分の関心が及ぶ身近な話題について結束性のある簡単なテキストを書くことができる。 ③自分の関心のあるさまざまな話題のうちのどれかについて、ほどほどの流暢さで、ある程度の長さの、簡単な記述やプレゼンテーションができる。 ④自分の関心や専門分野に関連した、身近な日常のおよび非日常的な問題について、自信を持って話し合いをすることができる。情報を交換、チェックし、確認できる。あまり日常的でない状況に対処し、問題の在処を説明できる。映画、書籍、音楽などの抽象的な文化的話題について、自分の考えを表現できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議/グループワーク							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	竹田悦子 他(2011)『読む力 中級』くろしお出版 ISBN-10 : 4874245188 ISBN-13 : 978-4874245187							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	5	小テスト・理解度テストなど(%)	5	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	30	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	中級レベルの文法と語彙を学ぶと、日常生活で話される日本語がかなり理解できるようになります。着実に覚えていくことが大切です。特に語彙は聞いて理解できるように、耳から覚えていくようにしましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。また、年に2回しかないJLPTを必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	1. 小テスト 2. 読解	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 読解	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

科目名	日本語Ⅲ			開講年度	2021年度秋学期			
担当者	伊 惠彦、内田 元一			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	2単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅰと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するといえることができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内ものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題(例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題)について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出合う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	クラスによって教科書が異なります。授業の中で指示しますので、間違えないように気を付けてください。 ①クラス 山崎佳子(2008)『日本語初級(1)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883194760 ISBN-13 : 978-4883194766 山崎佳子(2009)『日本語初級(2)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883195074 ISBN-13 : 978-4883195077 ②クラス 清水正幸(2018)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ25+10 [初中級]』凡人社 ISBN-10 : 4893589431 ISBN-13 : 978-4893589439 ③クラス 清水正幸(2016)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ10 [中級]』凡人社 ISBN-10 : 489358913X ISBN-13 : 978-4893589132 ④クラス 奥田純子(2020)『読む力 初中級』くろしお出版 ISBN-10 : 4874248276 ISBN-13 : 978-4874248270							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取り組み(%)	5	小テスト・理解度テストなど(%)	5	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	30	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備(60分)	1時間
第2回	1. 小テスト 2. 読解1	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 読解2	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 読解3	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. 読解4	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 読解5	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. 読解6	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 読解8	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 読解9	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. 読解10	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第13回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト① 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 確認テストのフィードバック 3. 読解11	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	1. 小テスト 2. 読解12	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 読解13	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. 読解14	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 読解15	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. 読解16 3. 読解のテーマに関するディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 読解17	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第21回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト② 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト②のフィードバック 3. 読解18	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 読解19	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. 読解20	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 小テスト 2. 読解21 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 小テスト 2. 読解22	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第29回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③ 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③のフィードバック 3. 読解23	事後学修:定期試験に向けた準備	6時間

科目名	日本語Ⅲ			開講年度	2021年度秋学期			
担当者	笹谷 志保、尹 恵彦			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	2単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅰと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するといえることができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内ものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使い、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題(例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題)について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出合う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	クラスによって教科書が異なります。授業の中で指示しますので、間違えないように気を付けてください。 ①クラス 山崎佳子(2008)『日本語初級(1)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883194760 ISBN-13 : 978-4883194766 山崎佳子(2009)『日本語初級(2)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883195074 ISBN-13 : 978-4883195077 ②クラス 清水正幸(2018)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ25+10 [初中級]』凡人社 ISBN-10 : 4893589431 ISBN-13 : 978-4893589439 ③クラス 清水正幸(2016)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ10 [中級]』凡人社 ISBN-10 : 489358913X ISBN-13 : 978-4893589132 ④クラス 奥田純子(2020)『読む力 初中級』くろしお出版 ISBN-10 : 4874248276 ISBN-13 : 978-4874248270							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取り組み(%)	5	小テスト・理解度テストなど(%)	5	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	30	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備(60分)	1時間
第2回	1. 小テスト 2. 読解1	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 読解2	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 読解3	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. 読解4	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 読解5	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. 読解6	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 読解8	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 読解9	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. 読解10	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第13回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト① 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 確認テストのフィードバック 3. 読解11	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	1. 小テスト 2. 読解12	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 読解13	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. 読解14	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 読解15	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. 読解16 3. 読解のテーマに関するディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 読解17	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第21回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト② 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト②のフィードバック 3. 読解18	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 読解19	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. 読解20	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 小テスト 2. 読解21 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 小テスト 2. 読解22	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第29回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③ 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③のフィードバック 3. 読解23	事後学修:定期試験に向けた準備	6時間

科目名	日本語Ⅲ			開講年度	2021年度秋学期			
担当者	尾崎 有以、片岡 浩史			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	2単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅰと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内ものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題(例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題)について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出合う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	クラスによって教科書が異なります。授業の中で指示しますので、間違えないように気を付けてください。 ①クラス 山崎佳子(2008)『日本語初級(1)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883194760 ISBN-13 : 978-4883194766 山崎佳子(2009)『日本語初級(2)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883195074 ISBN-13 : 978-4883195077 ②クラス 清水正幸(2018)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ25+10 [初中級]』凡人社 ISBN-10 : 4893589431 ISBN-13 : 978-4893589439 ③クラス 清水正幸(2016)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ10 [中級]』凡人社 ISBN-10 : 489358913X ISBN-13 : 978-4893589132 ④クラス 奥田純子(2020)『読む力 初中級』くろしお出版 ISBN-10 : 4874248276 ISBN-13 : 978-4874248270							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取り組み(%)	5	小テスト・理解度テストなど(%)	5	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	30	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備(60分)	1時間
第2回	1. 小テスト 2. 読解1	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 読解2	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 読解3	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. 読解4	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 読解5	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. 読解6	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 読解8	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 読解9	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. 読解10	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第13回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト① 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 確認テストのフィードバック 3. 読解11	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	1. 小テスト 2. 読解12	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 読解13	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. 読解14	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 読解15	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. 読解16 3. 読解のテーマに関するディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 読解17	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第21回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト② 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト②のフィードバック 3. 読解18	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 読解19	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. 読解20	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 小テスト 2. 読解21 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 小テスト 2. 読解22	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第29回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③ 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③のフィードバック 3. 読解23	事後学修:定期試験に向けた準備	6時間

科目名	日本語Ⅲ			開講年度	2021年度秋学期			
担当者	加藤 登紀、藤井 瑠美			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	2単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅰと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内ものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要な事実を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題(例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題)について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出合う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	クラスによって教科書が異なります。授業の中で指示しますので、間違えないように気を付けてください。 ①クラス 山崎佳子(2008)『日本語初級(1)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883194760 ISBN-13 : 978-4883194766 山崎佳子(2009)『日本語初級(2)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883195074 ISBN-13 : 978-4883195077 ②クラス 清水正幸(2018)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ25+10 [初中級]』凡人社 ISBN-10 : 4893589431 ISBN-13 : 978-4893589439 ③クラス 清水正幸(2016)『日本語学習者のための 読解厳選テーマ10 [中級]』凡人社 ISBN-10 : 489358913X ISBN-13 : 978-4893589132 ④クラス 奥田純子(2020)『読む力 初中級』くろしお出版 ISBN-10 : 4874248276 ISBN-13 : 978-4874248270							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	5	小テスト・理解度テストなど(%)	5	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	30	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備(60分)	1時間
第2回	1. 小テスト 2. 読解1	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 読解2	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 読解3	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. 読解4	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 読解5	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. 読解6	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第8回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 読解7	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 読解8	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 読解9	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. 読解10	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第13回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト① 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 確認テストのフィードバック 3. 読解11	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第15回	1. 小テスト 2. 読解12	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 読解13	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. 読解14	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 読解15	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. 読解16 3. 読解のテーマに関するディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 読解17	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第21回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト② 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト②のフィードバック 3. 読解18	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 読解19	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. 読解20	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第25回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 小テスト 2. 読解21 3. ディスカッション	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 小テスト 2. 読解21	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 小テスト 2. 読解22	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第29回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③ 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	1. 小テスト 2. 読解確認テスト③のフィードバック 3. 読解23	事後学修:定期試験に向けた準備	6時間

科目名	日本語Ⅳ			開講年度	2021年度秋学期			
担当者	笹谷 志保、内田 元一			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	2単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅱと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞をつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦勞しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題(自分・家族・買い物・地理・仕事)など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	クラスによって使用する教科書が違いますので、買うときは間違えないように気を付けてください。 ①クラス 山崎良子(2008)『日本語初級(1)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883194760 ISBN-13 : 978-4883194766 山崎良子(2009)『日本語初級(2)大地—メインテキスト』 ISBN-10 : 4883195074 ISBN-13 : 978-4883195077 ②クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547 ③クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547 ④クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』アルク ISBN-10 : 4757418558 ISBN-13 : 978-4757418554							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・ 取り組み(%)	5	小テスト・理解度テ ストなど(%)	5	レポートなど授業 外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	30	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っている必要があります。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5時間
第2回	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法4-6 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法13-15 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法16-18 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法22-25	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第8回	1. 確認テスト①のフィードバック 2. 小テスト 3. 文法 unit04 文法29-32	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法37・38 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法39-41 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法46-49 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法54-57 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法62-63 3. まとめ練習問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テスト②に向けた学修	4時間
第15回	1. 確認テスト② 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法68-71 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法79-82 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法90-92 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法96-99 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法99-102 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法106-109 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テスト③に向けた学修	4時間
第25回	1. 確認テスト③ 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 確認テスト③のフィードバック 2. 文のタイプ(1)1. 文のタイプ(2) 2. 実践問題(1)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 文のタイプ(4) 2. 実践問題(3)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 実践問題(5) 2. 会話	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	1. 実践問題(7) 2. 会話	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	総まとめ	事後学修:定期試験の準備(120分)	4時間

科目名	日本語Ⅳ			開講年度	2021年度秋学期			
担当者	井ノ口 智佳、笹谷 志保			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	2単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅱと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞をつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦勞しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題(自分・家族・買い物・地理・仕事)など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	クラスによって使用する教科書が違いますので、買うときは間違えないように気を付けてください。 ①クラス 山崎良子(2008)『日本語初級(1)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883194760 ISBN-13 : 978-4883194766 山崎良子(2009)『日本語初級(2)大地—メインテキスト』 ISBN-10 : 4883195074 ISBN-13 : 978-4883195077 ②クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547 ③クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547 ④クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』アルク ISBN-10 : 4757418558 ISBN-13 : 978-4757418554							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・ 取り組み(%)	5	小テスト・理解度テ ストなど(%)	5	レポートなど授業 外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	30	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っている必要があります。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5時間
第2回	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法4-6 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法13-15 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法16-18 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法22-25	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第8回	1. 確認テスト①のフィードバック 2. 小テスト 3. 文法 unit04 文法29-32	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法37・38 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法39-41 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法46-49 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法54-57 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法62-63 3. まとめ練習問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テスト②に向けた学修	4時間
第15回	1. 確認テスト② 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法68-71 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法79-82 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法90-92 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法96-99 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法99-102 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法106-109 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テスト③に向けた学修	4時間
第25回	1. 確認テスト③ 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 確認テスト③のフィードバック 2. 文のタイプ(1)1. 文のタイプ(2) 2. 実践問題(1)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 文のタイプ(4) 2. 実践問題(3)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 実践問題(5) 2. 会話	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	1. 実践問題(7) 2. 会話	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	総まとめ	事後学修:定期試験の準備(120分)	4時間

科目名	日本語Ⅳ			開講年度	2021年度秋学期			
担当者	尾崎 有以、橋本 凜			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	2単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅱと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞をつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦勞しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題(自分・家族・買い物・地理・仕事)など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	クラスによって使用する教科書が違いますので、買うときは間違えないように気を付けてください。 ①クラス 山崎良子(2008)『日本語初級(1)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883194760 ISBN-13 : 978-4883194766 山崎良子(2009)『日本語初級(2)大地—メインテキスト』 ISBN-10 : 4883195074 ISBN-13 : 978-4883195077 ②クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547 ③クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547 ④クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』アルク ISBN-10 : 4757418558 ISBN-13 : 978-4757418554							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	5	小テスト・理解度テストなど(%)	5	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	30	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っている必要があります。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5時間
第2回	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法4-6 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法13-15 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法16-18 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法22-25	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第8回	1. 確認テスト①のフィードバック 2. 小テスト 3. 文法 unit04 文法29-32	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法37・38 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法39-41 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法46-49 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法54-57 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法62-63 3. まとめ練習問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テスト②に向けた学修	4時間
第15回	1. 確認テスト② 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法68-71 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法79-82 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法90-92 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法96-99 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法99-102 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法106-109 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テスト③に向けた学修	4時間
第25回	1. 確認テスト③ 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 確認テスト③のフィードバック 2. 文のタイプ(1)1. 文のタイプ(2) 2. 実践問題(1)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 文のタイプ(4) 2. 実践問題(3)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 実践問題(5) 2. 会話	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	1. 実践問題(7) 2. 会話	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	総まとめ	事後学修:定期試験の準備(120分)	4時間

科目名	日本語Ⅳ			開講年度	2021年度秋学期			
担当者	加藤 登紀、藤井 瑠美			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	2単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅱと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞をつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦勞しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題(自分・家族・買い物・地理・仕事)など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	クラスによって使用する教科書が違いますので、買うときは間違えないように気を付けてください。 ①クラス 山崎良子(2008)『日本語初級(1)大地—メインテキスト』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883194760 ISBN-13 : 978-4883194766 山崎良子(2009)『日本語初級(2)大地—メインテキスト』 ISBN-10 : 4883195074 ISBN-13 : 978-4883195077 ②クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547 ③クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』アルク ISBN-10 : 475741854X ISBN-13 : 978-4757418547 ④クラス 安藤栄里子・今川和(2010)『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』アルク ISBN-10 : 4757418558 ISBN-13 : 978-4757418554							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・ 取り組み(%)	5	小テスト・理解度テ ストなど(%)	5	レポートなど授業 外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	30	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っている必要があります。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。また、確認テストが学期中に3回～4回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5時間
第2回	1. 小テスト 2. 文法unit01 文法4-6 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	1. 小テスト 2. 文法unit02 文法13-15 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法16-18 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	1. 小テスト 2. 文法unit03 文法22-25	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テストのための学修	4時間
第8回	1. 確認テスト①のフィードバック 2. 小テスト 3. 文法 unit04 文法29-32	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第9回	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法37・38 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第10回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法39-41 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第11回	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法46-49 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第12回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第13回	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法54-57 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第14回	1. 小テスト 2. 文法 unit06 文法62-63 3. まとめ練習問題	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テスト②に向けた学修	4時間
第15回	1. 確認テスト② 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第16回	1. 小テスト 2. 文法 unit07 文法68-71 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第17回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第18回	1. 小テスト 2. 文法 unit08 文法79-82 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第19回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第20回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法90-92 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第21回	1. 小テスト 2. 文法 unit09 文法96-99 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第22回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法99-102 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第23回	1. 小テスト 2. 文法 unit10 文法106-109 3. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第24回	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備 確認テスト③に向けた学修	4時間
第25回	1. 確認テスト③ 2. リスニング	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第26回	1. 確認テスト③のフィードバック 2. 文のタイプ(1)1. 文のタイプ(2) 2. 実践問題(1)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第27回	1. 文のタイプ(4) 2. 実践問題(3)	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第28回	1. 実践問題(5) 2. 会話	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第29回	1. 実践問題(7) 2. 会話	事後学修:授業内での学修項目の復習プリント 事前学修:次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第30回	総まとめ	事後学修:定期試験の準備(120分)	4時間

科目名	日本語Ⅳ		開講年度	2021年度秋学期				
担当者	小亀 拓也、伊澤 明香		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、日本語Ⅲの学修と合わせて、大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、特に大学での専門学修に必要な読みの能力の基礎を築く。そのために一般書のさまざまな話題について書かれた文章の内容把握、筆者の意図把握、例と意見の区別など、読む上での着眼点の着目等、読む活動に必要なスキルを身につけることを目指す。また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1. 日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①自分の専門分野の技術的な議論も含めて、標準語で話されれば、抽象的な話題でも具体的な話題でも、内容的にも言語的にもかなり複雑な話の要点を理解できる。 ②もし話題がそれなりに身近なもので、話の方向性がなんらかの標識で明示的に示されていれば、長い話や複雑な議論の流れでも理解できる。 ③自分の関心のある分野に関連した広範囲な話題について、明確かつ詳細に記述、プレゼンテーションができる。事項を細くしながら、関連事例を挙げて、主張を強化、展開することができる。 ④母語話者を相手に、お互いにストレスを感じさせることなく、普通の対話や関係が維持できる程度に、流暢に自然に対話できる。個人的に重要な出来事や経験を強調して、関連説明をし、根拠を示して自分の見方をはっきりと説明し、主張・維持できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	友松悦子 他(2011)『新完全マスター文法 日本語能力試験N2』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883195651 ISBN-13 : 978-4883195657							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	5	小テスト・理解度テストなど(%)	5	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	30	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	中級レベルの文法と語彙を学ぶと、日常生活で話される日本語がかなり理解できるようになります。着実に覚えていくことが大切です。特に語彙は聞いて理解できるように、耳から覚えていくようにしましょう。 また、確認テストが学期中に3回～4回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。また、年に2回しかないJLPTを必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時間を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	1. 小テスト 2. 文法	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 文法	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

科目名	日本語Ⅳ		開講年度	2021年度秋学期				
担当者	真下 恭子、仲本 早紀		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、日本語Ⅲの学修と合わせて、大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、特に大学での専門学修に必要な読みの能力の基礎を築く。そのために一般書のさまざまな話題について書かれた文章の内容把握、筆者の意図把握、例と意見の区別など、読む上での着眼点の着目等、読む活動に必要なスキルを身につけることを目指す。また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①自分の専門分野の技術的な議論も含めて、標準語で話されれば、抽象的な話題でも具体的な話題でも、内容的にも言語的にもかなり複雑な話の要点を理解できる。 ②もし話題がそれなりに身近なもので、話の方向性がなんらかの標識で明示的に示されていれば、長い話や複雑な議論の流れでも理解できる。 ③自分の関心のある分野に関連した広範囲な話題について、明確かつ詳細に記述、プレゼンテーションができる。事項を細くしながら、関連事例を挙げて、主張を強化、展開することができる。 ④母語話者を相手に、お互いにストレスを感じさせることなく、普通の対話や関係が維持できる程度に、流暢に自然に対話できる。個人的に重要な出来事や経験を強調して、関連説明をし、根拠を示して自分の見方をはっきりと説明し、主張・維持できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	友松悦子 他(2011)『新完全マスター文法 日本語能力試験N2』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883195651 ISBN-13 : 978-4883195657							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	5	小テスト・理解度テストなど(%)	5	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	30	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	中級レベルの文法と語彙を学ぶと、日常生活で話される日本語がかなり理解できるようになります。着実に覚えていくことが大切です。特に語彙は聞いて理解できるように、耳から覚えていくようにしましょう。 また、確認テストが学期中に3回～4回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。また、年に2回しかないJLPTを必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	1. 小テスト 2. 文法	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 文法	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

科目名	日本語Ⅳ			開講年度	2021年度秋学期			
担当者	茶園 直人、片岡 浩史			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	2単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、日本語Ⅲの学修と合わせて、大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、特に大学での専門学修に必要な読みの能力の基礎を築く。そのために一般書のさまざまな話題について書かれた文章の内容把握、筆者の意図把握、例と意見の区別など、読む上での着眼点の着目等、読む活動に必要なスキルを身につけることを目指す。また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①自分の専門分野の技術的な議論も含めて、標準語で話されれば、抽象的な話題でも具体的な話題でも、内容的にも言語的にもかなり複雑な話の要点を理解できる。 ②もし話題がそれなりに身近なもので、話の方向性がなんらかの標識で明示的に示されていれば、長い話や複雑な議論の流れでも理解できる。 ③自分の関心のある分野に関連した広範囲な話題について、明確かつ詳細に記述、プレゼンテーションができる。事項を細くしながら、関連事例を挙げて、主張を強化、展開することができる。 ④母語話者を相手に、お互いにストレスを感じさせることなく、普通の対話や関係が維持できる程度に、流暢に自然に対話できる。個人的に重要な出来事や経験を強調して、関連説明をし、根拠を示して自分の見方をはっきりと説明し、主張・維持できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	友松悦子 他(2011)『新完全マスター文法 日本語能力試験N2』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883195651 ISBN-13 : 978-4883195657							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	5	小テスト・理解度テストなど(%)	5	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	30	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	中級レベルの文法と語彙を学ぶと、日常生活で話される日本語がかなり理解できるようになります。着実に覚えていくことが大切です。特に語彙は聞いて理解できるように、耳から覚えていくようにしましょう。 また、確認テストが学期中に3回～4回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。また、年に2回しかないJLPTを必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時間を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	1. 小テスト 2. 文法	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 文法	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

科目名	日本語Ⅳ		開講年度	2021年度秋学期				
担当者	仲本 早紀、茶園 直人		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、日本語Ⅲの学修と合わせて、大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、特に大学での専門学修に必要な読みの能力の基礎を築く。そのために一般書のさまざまな話題について書かれた文章の内容把握、筆者の意図把握、例と意見の区別など、読む上での着眼点の着目等、読む活動に必要なスキルを身につけることを目指す。また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①自分の専門分野の技術的な議論も含めて、標準語で話されれば、抽象的な話題でも具体的な話題でも、内容的にも言語的にもかなり複雑な話の要点を理解できる。 ②もし話題がそれなりに身近なもので、話の方向性がなんらかの標識で明示的に示されていれば、長い話や複雑な議論の流れでも理解できる。 ③自分の関心のある分野に関連した広範囲な話題について、明確かつ詳細に記述、プレゼンテーションができる。事項を細くしながら、関連事例を挙げて、主張を強化、展開することができる。 ④母語話者を相手に、お互いにストレスを感じさせることなく、普通の対話や関係が維持できる程度に、流暢に自然に対話できる。個人的に重要な出来事や経験を強調して、関連説明をし、根拠を示して自分の見方をはっきりと説明し、主張・維持できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	友松悦子 他(2011)『新完全マスター文法 日本語能力試験N2』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883195651 ISBN-13 : 978-4883195657							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	5	小テスト・理解度テストなど(%)	5	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	30	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	中級レベルの文法と語彙を学ぶと、日常生活で話される日本語がかなり理解できるようになります。着実に覚えていくことが大切です。特に語彙は聞いて理解できるように、耳から覚えていくようにしましょう。 また、確認テストが学期中に3回～4回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。また、年に2回しかないJLPTを必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時間を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	1. 小テスト 2. 文法	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 文法	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

科目名	日本語Ⅳ		開講年度	2021年度秋学期				
担当者	井ノ口 智佳、伊 恵彦		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、日本語Ⅲの学修と合わせて、大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、特に大学での専門学修に必要な読みの能力の基礎を築く。そのために一般書のさまざまな話題について書かれた文章の内容把握、筆者の意図把握、例と意見の区別など、読む上での着眼点の着目等、読む活動に必要なスキルを身につけることを目指す。また、聴解の練習を通して、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができることを目指す。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①自分の専門分野の技術的な議論も含めて、標準語で話されれば、抽象的な話題でも具体的な話題でも、内容的にも言語的にもかなり複雑な話の要点を理解できる。 ②もし話題がそれなりに身近なもので、話の方向性がなんらかの標識で明示的に示されていれば、長い話や複雑な議論の流れでも理解できる。 ③自分の関心のある分野に関連した広範囲な話題について、明確かつ詳細に記述、プレゼンテーションができる。事項を細くしながら、関連事例を挙げて、主張を強化、展開することができる。 ④母語話者を相手に、お互いにストレスを感じさせることなく、普通の対話や関係が維持できる程度に、流暢に自然に対話できる。個人的に重要な出来事や経験を強調して、関連説明をし、根拠を示して自分の見方をはっきりと説明し、主張・維持できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	友松悦子 他(2011)『新完全マスター文法 日本語能力試験N2』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883195651 ISBN-13 : 978-4883195657							
参考書	—							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	5	小テスト・理解度テストなど(%)	5	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	30	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	中級レベルの文法と語彙を学ぶと、日常生活で話される日本語がかなり理解できるようになります。着実に覚えていくことが大切です。特に語彙は聞いて理解できるように、耳から覚えていくようにしましょう。 また、確認テストが学期中に3回～4回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。また、年に2回しかないJLPTを必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1時間
第2回	1. 小テスト 2. 文法	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	1. 小テスト 2. 文法	事後学修: 授業内での学修項目の復習プリント 事前学修: 次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

科目名	日本語V		開講年度	2021年度春学期				
担当者	井ノ口 智佳、伊澤 明香		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、幅広い場面で使われる日本語への理解を目指す。							
授業の目的及び概要	本科目は、JLPT N2以上の学修者を対象に、より高度な日本語の運用能力を養成することを目的とする。日本語VIでの学修と合わせて、大学での専門学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、本科目では①幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説など、論旨が明快な文章を読んで文章の内容を理解する、②一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや表現意図を理解する、③読んだものを通して持った自身の意見を、他者に明瞭に伝える等の学修をとおり、「読む・話す・書く」の受容・産出・やりとり能力を向上させる。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切な参考資料を選択して使いながら、様々な目的やテキストの種類に合わせて、読むスピード、読み方を変えながら独力でかなりのところまで読み解ける。 ②記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。要点を見失わずに、関連する詳細情報を付け加えて、内容を補足できる。 ③いろいろな情報や議論をまとめて評価した上で、自分の関心がある専門分野の多様な話題について明瞭で詳細なテキストを書くことができる。 ④一般的、学術的、職業上、もしくは余暇に関する幅広い話題について、流暢に、正確に、そして効果的に言葉を使うことができ、考えと考えの間の関係をはっきりさせることができる。言いたいことが表現できない様子もまずなく、文法も正確でその場にふさわしい丁寧さで自然にコミュニケーションできる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	クラスによって使用するテキストが異なります。第一回目のガイダンス等で案内しますので、購入の際は間違えないように気を付けてください。 ①クラス・②クラス 奥田純子監修(2013)『読む力 中上級』くろしお出版 ISBN-10 : 4874245846 ISBN-13 : 978-4874245842 ③クラス 鎌田修 他(2012)『新・中級から上級への日本語』ジャパンタイムズ ISBN-10 : 4789014622 ISBN-13 : 978-4789014625							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	5	小テスト・理解度テストなど(%)	5	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	30	その他(%)	J-cat		10
この科目の履修にあたって	授業の到達目標を参考にして、自らの学修計画を作成しましょう。その際JLPTの受験を必ず目標に入れ、7月と12月のJLPT試験を必ず受験しましょう。また、授業には必ず出席し「能動的に」受講してください。予習・復習は必須です。また、確認テストが学期中に3回～4回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。また、年に2回しかないJLPTを必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

科目名	日本語VI		開講年度	2021年度春学期				
担当者	茶園 直人、内田 元一		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、幅広い場面で使われる日本語への理解を目指す。							
授業の目的及び概要	本科目は、JLPT N2以上の学修者を対象に、より高度な日本語の運用能力を養成することを目的とする。日本語Vでの学修と合わせて、大学での専門学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、特に大学での専門学修に必要な読みの能専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、本科目では①詳述に必要な文法の学修、②自然に近いスピード、まとまりのある会話やニュースを聞く聴解練習等の学修をおして、「聞く・書く」の受容・産出能力を向上させる。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりです。 ①特に耳慣れない話し方をする話者の場合には、時々細部を確認しなければならない場合があるが、自分の専門外の抽象的で複雑な話題についての長い発話にも十分についていける。(C1 受容) ②また、幅の広い慣用表現や口語体表現が理解でき、言語の使用域の移行を正しく認識できる。(G1 受容) ③構造がはっきりしていない場合、または内容の関係性が暗示されているだけで、明示的でない場合でも、長い発話を理解できる。(C1 受容) ④複雑な話題について、明瞭にきちんとした構造を持ったテキストを書くことができる。関連性のある重要点を強調して、補助的事項、理由、関連する詳細な事例を付け加えて、論点を展開し、それを維持していくことができる。最後に適切な結論で終わることができる。(C1 産出) ⑤自分が述べたいことをはっきりと正確に表現することができ、相手に対して、柔軟に効果的に対応することができる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	確認テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入の際は、間違えないように気を付けてください。 ①クラス・②クラス 友松悦子(2011)『新完全マスター文法 日本語能力試験N1』スリーエーネットワーク ISBN-10 : 4883195643 ISBN-13 : 978-4883195640 ③クラス 資料を配布する							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	5	小テスト・理解度テストなど(%)	5	レポートなど授業外課題(%)	10	中間試験(%)	30
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	30	その他(%)	J-cat	10	
この科目の履修にあたって	授業の到達目標を参考にして、自らの学修計画を作成しましょう。その際JLPTの受験を必ず目標に入れ、7月あるいは12月のJLPT試験を受験しましょう。また、授業には必ず出席し「能動的に」受講してください。予習・復習は必須です。また、確認テストが学期中に3回～4回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、確認テストで点数を取ることが科目合格につながります。また、年に2回しかないJLPTを必ず受験してください。学期中にJLPT合格に向けたJLPT模試も実施します。必ず受験し、合格に向けた学修をしましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時間を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

科目名	日本語読解		開講年度	2021年度春学期				
担当者	小南 淳子		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	1単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	大学での演習授業や専門学修に求められるアカデミックなスキルのうち、主に読みの能力を高める。							
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。大学での専門学修やひいては大学卒業後の日本での就労も視野に入れ、一般書や論説文等を用い、正確に読み解く活動を行い、徐々に批判的な読みへとつなげていく。また、同一テーマに関する他の読み物を読み、二者あるいは三者間の内容を統合させて、まとめるといった活動を行い、大学での専門学修に堪える読みの能力を向上させる。							
履修の条件・注意	本科目は、日本語能力試験(JLPT)N2以上の留学生が対象の授業である。日本語会話、日本語作文を受講する者は、必ず履修すること。							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①ざっと目を通しただけで、テキストの重要事項を見定めることができる。 ②幅の広い専門的な話題についての情報、記事、レポートの内容やその重要度を見抜くことができる。 ③自分の関係分野の長い複雑な説明を理解できる。 ④論拠、論点を整理してまとめることができる。 ⑤テキストに対して、自分の意見をエッセイやレポートに書くことができる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	ディスカッション等に対して、授業内で説明によるフィードバックを行う。また、授業のおわりには、各回学修の振り返りのコメントペーパーを提出し、教員がそれに対して次の週に答えたり、感想を述べたりする。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議/グループワーク/プレゼンテーション、発表、報告							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	指定しない。 新聞・インターネット・雑誌などの記事、小説、随筆など、日本人学生が読むものと同レベルのものを、適宜配布し、読解資料として用いる。							
参考書	資料ごとに指示する。							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	30	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	0
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	30	その他(%)	コメントペーパー、読解資料の要約(文章・口頭発表)など授業内に作成する提出物		20
この科目の履修にあたって	大学での学修では、本を読んで新しい知識を獲得することからはじまり、複数の図書の内容を統合させるという高度な読みの能力が必要になります。しかし、受け身の態度で読んでいても力はいきません。自分で読む習慣をつけていきましょう。身のまわりにある新聞記事、インターネットの記事、各種リーフレット、小説、エッセーから、研究論文まで、さまざまな文章を扱います。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の流れ、評価の方法等の説明。 次時の資料を配布する。	本時の読解資料の復習(語彙、内容の理解)<30~60分> > 次時のための読解の配布資料の予習(語彙調べ、文法の確認、内容の読み込み)をする<60~120分>	1.5時間
第2回	テーマ1(1) ①文法の確認 ②精読	本時の読解資料の復習(語彙、内容の理解)<30~60分> > 次時のための読解の配布資料の予習(語彙調べ、文法の確認、内容の読み込み)をする<60~120分>	1.5時間
第3回	テーマ1(2) ①文法の確認 ②精読	本時の読解資料の復習(語彙、内容の理解)<30~60分> > 次時のための読解の配布資料の予習(語彙調べ、文法の確認、内容の読み込み)をする<60~120分>	1.5時間

第4回	テーマ1(3) テーマ1まとめ テーマ1関連文章 ①文法の確認 ②精読	本時の読解資料の復習(語彙、内容の理解) <30~60分> > 次時のための読解の配布資料の予習(語彙調べ、文法の確認、内容の読み込み)をする<60~120分>	1.5時間
第5回	テーマ2(1) ①文法の確認 ②精読	本時の読解資料の復習(語彙、内容の理解) <30~60分> > 次時のための読解の配布資料の予習(語彙調べ、文法の確認、内容の読み込み)をする<60~120分>	1.5時間
第6回	テーマ2(2) ①文法の確認 ②精読	本時の読解資料の復習(語彙、内容の理解) <30~60分> > 次時のための読解の配布資料の予習(語彙調べ、文法の確認、内容の読み込み)をする<60~120分>	1.5時間
第7回	テーマ2(3) ①文法の確認 ②精読 ③テーマ2まとめ	本時の読解資料の復習(語彙、内容の理解) <60~120分> > 次時のための読解の配布資料の予習(語彙調べ、文法の確認、内容の読み込み)をする<60~120分>	2時間
第8回	テーマ2関連文章 ①文法の確認 ②精読	本時の読解資料の復習(語彙、内容の理解) <30~60分> > 次時のための読解の配布資料の予習(語彙調べ、文法の確認、内容の読み込み)をする<90~120分>	2時間
第9回	テーマ3(1) ①文法の確認 ②精読	本時の読解資料の復習(語彙、内容の理解) <30~60分> > 次時のための読解の配布資料の予習(語彙調べ、文法の確認、内容の読み込み)をする<60~120分>	1.5時間
第10回	テーマ3(2) クリティカルリーディングへの挑戦 批判的な読みとは…	本時の読解資料の復習(語彙、内容の理解) <30~60分> > 次時のための読解の配布資料の予習(語彙調べ、文法の確認、内容の読み込み)をする<60~120分>。 次時のディスカッションに向けて、テーマについて情報収集を行う<60~120分>	2.5時間
第11回	テーマ3(3) ①ディスカッション ②口頭発表 ③テーマ3 まとめ	本時の読解資料の復習(語彙、内容の理解) <30~60分> > 次時のための読解の配布資料の予習(語彙調べ、文法の確認、内容の読み込み)をする<60~90分>	1.5時間
第12回	テーマ4(1) ①文法の確認 ②精読	本時の読解資料の復習(語彙、内容の理解) <30~60分> > 次時のための読解の配布資料の予習(語彙調べ、文法の確認、内容の読み込み)をする<60~120分> 次時のディスカッションに向けて、テーマについて情報収集を行う<60~120分>	2.5時間
第13回	テーマ4(2) ①文法の確認 ②精読 ③ディスカッション	本時の読解資料の復習(語彙、内容の理解) <30~60分> > 次時のための読解の配布資料の予習(語彙調べ、文法の確認、内容の読み込み)をする<60~120分>	1.5時間
第14回	テーマ4関連文章(1) ①文法の確認 ②精読	本時の読解資料の復習(語彙、内容の理解) <30~60分> > 次時のための読解の配布資料の予習(語彙調べ、文法の確認、内容の読み込み)をする<60~120分> 次時のディスカッションに向けて、テーマについて情報収集を行う<60~120分>	2.5時間
第15回	テーマ4関連文章(2) ①文法の確認 ②精読 ③テーマ4まとめ ディスカッションと口頭発表 ④15回の授業の振り返り	本時の読解資料の復習(語彙、内容の理解) <30~60分> > 定期試験(レポート)の準備をする<240分>	6時間

科目名	日本語会話			開講年度	2021年度春学期			
担当者	仲本 早紀			配当年次	1234			
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html			単位数	1単位			
				授業形態(方法)	演習(外国語)			
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	大学での演習授業や専門学修に求められるアカデミックなスキルのうち、口頭で表現する能力を身につける。							
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。N2以上の学生を対象とし、大学での専門学修やひいては大学卒業後の日本での就労も視野に入れ、日本語読解の授業で扱った内容を用いて、ディスカッション、プレゼンテーション、スピーチの仕方を学び、また練習を行うことによって、主に「聞く・話す」の2つの技能を向上させる。							
履修の条件・注意	本科目は、日本語能力試験(JLPT)N2以上の留学生が対象であり、日本語読解と連動して授業が構成されているため、日本語読解の同時履修が求められる。							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。 ②はつきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。 ③予め用意されたテキストから自然に離れて、聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる。そこで非常に流暢に、楽に表現ができる。 ④内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的/専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	授業の活動の後に全体に対して説明を通してフィードバックを行うと同時に、個人的なフィードバックも行う。また、授業内で毎回ディスカッションやグループワークを行なうため、受講生の能動的かつ積極的な参加が求められる。授業後には、ミニッツペーパーにより、各回の学修の振り返りをし、教員がそれに対してフィードバックをする。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議/グループワーク/プレゼンテーション、発表、報告							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	配布資料を使用するため、購入の必要はありません。							
参考書	『学生のためのプレゼンテーション・トレーニング 伝える力を高める14ユニット』、藤田直也、西谷斉、森山智浩、実教出版 2015年、ISBN:978-4-407-33743-3							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	20	小テスト・理解度テストなど(%)	10	レポートなど授業外課題(%)	20	中間試験(%)	15
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	25	その他(%)	ミニッツペーパー		10
この科目の履修にあたって	大学での学修は、グループワークやディスカッションをする機会が多く、よく用いられる語彙や表現を知っておくことが必要になります。「日本語で自分の意見が言えない」「先生に発表をしないと言われてたけれど、どうやってすればいいかわからない」という人もいます。特に2年生になると演習の授業で発表することも多くなりますから、発表スキルも必要になってきます。こんな悩みを持たないように、この授業で意見を言う練習やプレゼンをする練習をしておきましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html			授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。				

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の流れ、評価の方法等の説明、アンケート 自己紹介マップを用いた交流 スピーチの流れと表現の学修(1) ①テーマを示して、聞き手に語りかける方法 ②自分の意見とその理由を述べる方法	・提示されたテーマに関して、学習した表現を用いて自分の意見をまとめてくること。(2時間程度) ・自分の意見とは異なる意見を予想して、配布プリントにまとめてくること。(1時間程度) ・授業で扱ったディクテーション内容に関して小テストを実施するので、学習した表現を復習しておくこと。(30分程度)	3.5時間
第2回	スピーチの流れと表現の学修(2) ①自分とは異なる意見を述べる方法 ②結論を述べる方法	・授業後に、提示されたテーマに関して、意見文を完成させてくること。(2時間程度) ・プレゼンのテーマを決め、メモを書いてくること。(60分程度) ・授業で扱ったディクテーション内容に関して小テストを実施するので、学習した表現を復習しておくこと。(60分程度)	4時間

第3回	スピーチの流れと表現の学修(3) ①「いい発表」とは何かを考える ②「いい資料」とは何かを考える	・授業後に、学習した表現を用いたプレゼンのスクリプトと資料を完成させておくこと。(3時間程度) ・発表の態度や時間配分を気にしながら、発表の練習をしておくこと。(1時間程度) ・授業で扱ったディクテーション内容に関して小テストを実施するので、学習した表現を復習しておくこと。(1時間程度)	5時間
第4回	スピーチの流れと表現の学修(4) テーマを設定し、それに関する意見を話す(自分とは異なる意見の存在にも触れながら、多角的な見解を述べること。)	・授業後に、自分の発表の動画を見て、振り返りシートに記入し、次回授業で提出すること。(2時間程度) ・授業で扱ったディクテーション内容に関して小テストを実施するので、学習した表現を復習しておくこと。(1時間程度)	3時間
第5回	データについて述べる(1) ①グラフ関連の語彙を知る ②グラフの情報について説明する	・紹介するグラフを1つ探して、グラフが表す情報についての説明文を作成し、次回授業時に発表すること。(2時間半程度) ・授業で扱ったディクテーション内容に関して小テストを実施するので、学習した表現を復習しておくこと。(1時間程度)	3時間
第6回	データについて述べる(2) ①2つのグラフやデータの情報を比較し、説明する ②データを分析し、意見を述べる	・提示されたデータを分析し、その説明と意見文を作成すること。(2時間半程度) ・授業で扱ったディクテーション内容に関して小テストを実施するので、学習した表現を復習しておくこと。(1時間程度)	3.5時間
第7回	データについて述べる(3) ①グラフや調査結果などのデータを用いたプレゼンを行う ②プレゼンの準備・スクリプト作成	・授業後に、学習した表現を用いたプレゼンのスクリプトと資料を完成させておくこと。(3時間程度) ・発表の態度や時間配分を気にしながら、発表の練習をしておくこと。(1時間程度) ・授業で扱ったディクテーション内容に関して小テストを実施するので、学習した表現を復習しておくこと。(1時間程度)	5時間
第8回	データについて述べる(4) グラフや調査結果などを提示し、その説明と分析を含めたプレゼンを行う	・授業後に、自分の発表の動画を見て、振り返りシートに記入し、次回授業で提出すること。(2時間程度) ・授業で扱ったディクテーション内容に関して小テストを実施するので、学習した表現を復習しておくこと。(1時間程度)	3時間
第9回	ディスカッションの流れと表現の学修(1) ①意見を言う ②理由を言う ③問い返す・内容を確認する	・提示されたディスカッションテーマに関して自分の意見をまとめ、配布プリントに記入すること。(2時間程度) ・授業で扱ったディクテーション内容に関して小テストを実施するので、学習した表現を復習しておくこと。(1時間程度)	3時間
第10回	ディスカッションの流れと表現の学修(2) ①賛成意見、追加の理由を言う ②発言の意思を伝える ③丁寧に反対意見を言う ④問い返す・内容を確認する	・授業後に、授業で配布したレジュメを読んで復習しておくこと。(2時間程度) ・授業で扱ったディクテーション内容に関して小テストを実施するので、学習した表現を復習しておくこと。(1時間程度)	3時間
第11回	プレゼンの流れと表現の学修(1) ①プレゼンを聞き、理解する ②プレゼンの構成を知る	・授業後に、授業で配布したレジュメを読んで復習しておくこと。(2時間程度) ・授業で扱ったディクテーション内容に関して小テストを実施するので、学習した表現を復習しておくこと。(1時間程度)	3時間
第12回	プレゼンの流れと表現の学修(2) ①プレゼンを始める ②テーマのトピックに関して聴衆を引き付ける工夫をする	・提示されたテーマに関して、聞き手が興味を持つような話を考え、配布プリントに記入しておくこと。(2時間程度) ・授業で扱ったディクテーション内容に関して小テストを実施するので、学習した表現を復習しておくこと。(1時間程度)	3時間
第13回	プレゼンの流れと表現の学修(3) ①発表をまとめる ②発表内容に関して質問をする ③質問を受ける	・発表テーマを決めておくこと。 ・発表テーマに関するデータや資料を集めておくこと。(5時間程度) ・授業で扱ったディクテーション内容に関して小テストを実施するので、学習した表現を復習しておくこと。(1時間程度)	6時間
第14回	プレゼンの流れと表現の学修(4) ①レジュメ・資料の作り方 ②プレゼン準備	・授業後に、学習した表現を用いたプレゼンのスクリプトと資料を完成させておくこと。(2時間程度) ・発表の態度や時間配分を気にしながら、発表の練習をしておくこと。(1時間程度) ・授業で扱ったディクテーション内容に関して小テストを実施するので、学習した表現を復習しておくこと。(1時間程度)	4時間
第15回	プレゼンの流れと表現の学修(5) ①プレゼン実践 ②他の発表者の評価や自身の振り返り	自身のプレゼンの反省をし、今後に向けて成果(うまくできた点・改善点)をまとめる。(2時間程度)	2時間

科目名	日本語表現		開講年度	2021年度秋学期				
担当者	小南 淳子		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	1単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	大学での演習授業や専門学修に求められるアカデミックなスキルのうち、文書で表現する能力を身につける。							
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。大学での専門学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、それらの場で必要とされる基本的な文書の構成や作法を学び、事実、引用、意見、根拠などを盛り込んだ2000字程度のもたまりある文書が書けるように練習する。そのため、日本語読解の授業で扱った内容(テーマ)を用いて、レポートを作成するための諸要素の学修と練習を通して、主に「読む・書く」の2つの技能を向上させる。							
履修の条件・注意	本科目は、日本語能力試験(JLPT)N2以上の留学生が対象であり、春学期の日本語読解と連動して授業が構成されているため、日本語読解の春学期履修が求められる。							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ②幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ③もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長い複雑な説明を理解できる。 ④実際、もしくは想像上の出来事や経験について、複数の見解を相互に関連づけ、当該のジャンルの書記習慣に従って、明瞭かつ詳細に記述文を書くことができる。 ⑤論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	提出された課題は、添削をして返却する。場合によっては、個別に指導することもある。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議/グループワーク/プレゼンテーション、発表、報告							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	指定しない。 春学期「日本語読解」のクラスで用いた資料を題材として扱うことがある。							
参考書	資料ごとに紹介する。							
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	20	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	40	中間試験(%)	0
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)			
この科目の履修にあたって	書くということ自体に苦手感を持つ学生もいると思いますが、多くの人は、「何を書くか」に困っていると思います。「何を書くか」の最も重要な部分がテーマに関する「自分なりの考え」です。自分なりの考えは、人に教えられるのを待っていても出てきません。ぜひ、テーマについて、調べたりして自分で考えてください。自分なりの意見を持たば、あとはどのように伝えるかだけです。どのように伝えるかを授業で学修し、身につけてください。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	授業の流れ、評価の方法等の説明。 句読点と表記規則について学ぶ。 短い自己紹介文を書く。	復習(句読点と表記規則)の練習問題をする。 授業内に課題が完成しなかった場合は、完成させて必ず次時に提出すること。	1.5時間
第2回	論文でよく使われる文の形について学ぶ。 文語と口語語彙について学ぶ。 テーマ「日本語と私」	復習(文語と口語語彙)の練習問題をする。 授業内に課題が完成しなかった場合は、完成させて必ず次時に提出すること。	1.5時間
第3回	指示語の使い方 接続詞の使い方を学ぶ。 配付資料をきっかけとして、作文を書く。	復習(接続詞)の練習問題をする。 授業内に課題が完成しなかった場合は、完成させて必ず次時に提出すること。	1.5時間

第4回	比較・対照、因果関係の示し方を学ぶ。 配付資料をきっかけとして、作文を書く。	復習(比較・対照、因果関係の示し方)として練習問題をする。 授業内に課題が完成しなかった場合は、完成させて必ず次時に提出すること。	1.5時間
第5回	時間の経過の説明方法を学ぶ。 配付資料をきっかけとして、作文を書く。	復習(時間の経過の説明方法)として練習問題をする。 授業内に課題が完成しなかった場合は、完成させて必ず次時に提出すること。	1.5時間
第6回	段落構成について学ぶ(1) 配付資料をきっかけとして、作文を書く。	復習(段落構成)として練習問題をする。 授業内に課題が完成しなかった場合は、完成させて必ず次時に提出すること。	1.5時間
第7回	段落構成について学ぶ(2) 配付資料をきっかけとして、作文を書く。	復習(段落構成)として練習問題をする。 授業内に課題が完成しなかった場合は、完成させて必ず次時に提出すること。	1.5時間
第8回	1段落(資料は配付する)の文章の要約文を書く。 複数の段落を持つ文章(資料は配付する)の要約文を書く。	復習(段落構成)として練習問題をする。 授業内に課題が完成しなかった場合は、完成させて必ず次時に提出すること。	1.5時間
第9回	データを示す、公の事実を示す。 配付資料をきっかけとして、作文を書く。	授業の中で使用する資料にもとづき、自発的に他のデータなど関連資料をさがし、考えを深める。 授業内に課題が完成しなかった場合は、完成させて必ず次時に提出すること。	3時間
第10回	引用の仕方を学ぶ(直接引用、間接引用)。 参考文献目録の書き方を学ぶ。	復習。 各自、興味のあるテーマについて、調べ、次時の準備をする。	2時間
第11回	客観的な説明文を書く。 定義の書き方を学ぶ。	各自のテーマについて自発的に関連資料をさがし、考えを深める。 次時のための配付資料を読む(読みや意味を調べる)。 授業内に課題が完成しなかった場合は、完成させて必ず次時に提出すること。	3時間
第12回	配付資料にもとづいて、意見と事実とを分けて書く。 意見を述べる時の文法を学修する。 論拠を書く。	レポートのテーマを考え、関連資料をさがし、考えを深める。	3時間
第13回	各自のテーマで、レポートを作成する。 「はじめに」の部分を書く。	授業内に課題が完成しなかった場合は、完成させて必ず次時に提出すること。 各自のテーマについて、関連資料をさがし、考えを深める。	3時間
第14回	序論部分 本論部分(1)を書く。	各自のテーマについて、関連資料をさがし、考えを深める。 レポート作成を進める。	3時間
第15回	本論部分(2) 結論部分を書く。	各自のテーマについて、関連資料をさがし、考えを深める。 レポートを完成させ、授業内に指示された期日、方法で提出する。	4時間

科目名	日本語総合演習A		開講年度	2021年度秋学期				
担当者	仲本 早紀		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(日本語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②資料の内容をまとめる、③調べたことについて口頭で報告するといった練習を通して、主に「聞く・読む・話す」の3つの技能を総合的に向上させる。							
履修の条件・注意	留学生対象の授業であり、日本語総合演習Bと関連しているため、日本語総合演習Aの春学期履修が望ましい。							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経済学科DP3.他の人々と協働し、社会の一員として行動する能力と責任感を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP4.他の人々と協働し、企業をはじめとする組織の一員として活躍できる能力を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP3.他者と協働しながら主体的に判断し、リーダーシップをもって行動する力を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 法学部法律学科DP4.論理的な思考力と豊かな表現力とともに幅広い教養および実践感覚を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。 ②はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。 ③予め用意されたテキストから自然に離れて、聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる。そこで非常に流暢に、楽に表現ができる。 ④ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ⑤幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ⑥もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ⑦内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的/専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	プレゼンテーション発表の後、PPTのレイアウトは口頭発表の仕方(声の大きさ、態度等)の良かった点・改善点をコメントします。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議/グループワーク/プレゼンテーション、発表、報告							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	授業内でプリントを配布する							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	20	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	40	中間試験(%)	0
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)			
この科目の履修にあたって	日本語を使って、口頭発表を中心にする授業です。大学での学修に必要な日本語の力を身につけましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	ガイダンス(授業の流れ、評価の方法等の説明)	次回授業で扱う内容についての課題をする	2時間
第2回	読解(テーマ1)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第3回	読解(テーマ1)で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間

第4回	プレゼンテーションの方法を学ぶ	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	4時間
第5回	プレゼンテーションとフィードバック(1)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第6回	読解(テーマ2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第7回	読解テーマ2で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	4時間
第8回	プレゼンテーションとフィードバック(2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第9回	読解(テーマ3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第10回	読解テーマ3で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	6時間
第11回	プレゼンテーションとフィードバック(3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第12回	読解(テーマ4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第13回	読解 読解テーマ4で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	6時間
第14回	プレゼンテーションとフィードバック(4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第15回	総括	事後学修:自身の発表について振り返る	2時間

科目名	日本語総合演習A		開講年度	2021年度秋学期				
担当者	片岡 浩史		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(日本語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②資料の内容をまとめる、③調べたことについて口頭で報告するといった練習を通して、主に「聞く・読む・話す」の3つの技能を総合的に向上させる。							
履修の条件・注意	留学生対象の授業であり、日本語総合演習Bと関連しているため、日本語総合演習Aの春学期履修が望ましい。							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経済学科DP3.他の人々と協働し、社会の一員として行動する能力と責任感を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP4.他の人々と協働し、企業をはじめとする組織の一員として活躍できる能力を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP3.他者と協働しながら主体的に判断し、リーダーシップをもって行動する力を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 法学部法律学科DP4.論理的な思考力と豊かな表現力とともに幅広い教養および実践感覚を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。 ②はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。 ③予め用意されたテキストから自然に離れて、聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる。そこで非常に流暢に、楽に表現ができる。 ④ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ⑤幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ⑥もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ⑦内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的/専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	プレゼンテーション発表の後、PPTのレイアウトは口頭発表の仕方(声の大きさ、態度等)の良かった点・改善点をコメントします。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議/グループワーク/プレゼンテーション、発表、報告							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	授業内でプリントを配布する							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	20	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	40	中間試験(%)	0
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)			
この科目の履修にあたって	日本語を使って、口頭発表を中心にする授業です。大学での学修に必要な日本語の力を身につけましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時間を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	ガイダンス(授業の流れ、評価の方法等の説明)	次回授業で扱う内容についての課題をする	2時間
第2回	読解(テーマ1)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第3回	読解(テーマ1)で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間

第4回	プレゼンテーションの方法を学ぶ	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	4時間
第5回	プレゼンテーションとフィードバック(1)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第6回	読解(テーマ2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第7回	読解テーマ2で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	4時間
第8回	プレゼンテーションとフィードバック(2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第9回	読解(テーマ3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第10回	読解テーマ3で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	6時間
第11回	プレゼンテーションとフィードバック(3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第12回	読解(テーマ4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第13回	読解 読解テーマ4で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	6時間
第14回	プレゼンテーションとフィードバック(4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第15回	総括	事後学修:自身の発表について振り返る	2時間

科目名	日本語総合演習A		開講年度	2021年度秋学期				
担当者	伊 恵彦		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(日本語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②資料の内容をまとめる、③調べたことについて口頭で報告するといった練習を通して、主に「聞く・読む・話す」の3つの技能を総合的に向上させる。							
履修の条件・注意	留学生対象の授業であり、日本語総合演習Bと関連しているため、日本語総合演習Aの春学期履修が望ましい。							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経済学科DP3.他の人々と協働し、社会の一員として行動する能力と責任感を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP4.他の人々と協働し、企業をはじめとする組織の一員として活躍できる能力を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP3.他者と協働しながら主体的に判断し、リーダーシップをもって行動する力を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 法学部法律学科DP4.論理的な思考力と豊かな表現力とともに幅広い教養および実践感覚を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。 ②はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。 ③予め用意されたテキストから自然に離れて、聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる。そこで非常に流暢に、楽に表現ができる。 ④ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ⑤幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ⑥もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ⑦内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的/専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	プレゼンテーション発表の後、PPTのレイアウトは口頭発表の仕方(声の大きさ、態度等)の良かった点・改善点をコメントします。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議/グループワーク/プレゼンテーション、発表、報告							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	授業内でプリントを配布する							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	20	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	40	中間試験(%)	0
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)			
この科目の履修にあたって	日本語を使って、口頭発表を中心にする授業です。大学での学修に必要な日本語の力を身につけましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	ガイダンス(授業の流れ、評価の方法等の説明)	次回授業で扱う内容についての課題をする	2時間
第2回	読解(テーマ1)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第3回	読解(テーマ1)で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間

第4回	プレゼンテーションの方法を学ぶ	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	4時間
第5回	プレゼンテーションとフィードバック(1)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第6回	読解(テーマ2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第7回	読解テーマ2で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	4時間
第8回	プレゼンテーションとフィードバック(2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第9回	読解(テーマ3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第10回	読解テーマ3で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	6時間
第11回	プレゼンテーションとフィードバック(3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第12回	読解(テーマ4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第13回	読解 読解テーマ4で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	6時間
第14回	プレゼンテーションとフィードバック(4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第15回	総括	事後学修:自身の発表について振り返る	2時間

科目名	日本語総合演習A		開講年度	2021年度春学期				
担当者	伊 恵彦		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②資料の内容をまとめる、③調べたことについて口頭で報告するといった練習を通して、主に「聞く・読む・話す」の3つの技能を総合的に向上させる。							
履修の条件・注意	留学生対象の授業であり、日本語総合演習Bと関連しているため、日本語総合演習Aの春学期履修が望ましい。							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経済学科DP3.他の人々と協働し、社会の一員として行動する能力と責任感を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP4.他の人々と協働し、企業をはじめとする組織の一員として活躍できる能力を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP3.他者と協働しながら主体的に判断し、リーダーシップをもって行動する力を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 法学部法律学科DP4.論理的な思考力と豊かな表現力とともに幅広い教養および実践感覚を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。 ②はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。 ③予め用意されたテキストから自然に離れて、聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる。そこで非常に流暢に、楽に表現ができる。 ④ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ⑤幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ⑥もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ⑦内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的/専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	プレゼンテーション発表の後、PPTのレイアウトは口頭発表の仕方(声の大きさ、態度等)の良かった点・改善点をコメントします。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議/グループワーク/プレゼンテーション、発表、報告							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	授業内でプリントを配布する							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	20	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	40	中間試験(%)	0
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)			
この科目の履修にあたって	日本語を使って、口頭発表を中心にする授業です。大学での学修に必要な日本語の力を身につけましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時間を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	ガイダンス(授業の流れ、評価の方法等の説明)	次回授業で扱う内容についての課題をする	2時間
第2回	読解(テーマ1)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第3回	読解(テーマ1)で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間

第4回	プレゼンテーションの方法を学ぶ	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	4時間
第5回	プレゼンテーションとフィードバック(1)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第6回	読解(テーマ2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第7回	読解テーマ2で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	4時間
第8回	プレゼンテーションとフィードバック(2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第9回	読解(テーマ3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第10回	読解テーマ3で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	6時間
第11回	プレゼンテーションとフィードバック(3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第12回	読解(テーマ4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第13回	読解 読解テーマ4で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	6時間
第14回	プレゼンテーションとフィードバック(4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第15回	総括	事後学修:自身の発表について振り返る	2時間

科目名	日本語総合演習A		開講年度	2021年度春学期				
担当者	内田 元一		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②資料の内容をまとめる、③調べたことについて口頭で報告するといった練習を通して、主に「聞く・読む・話す」の3つの技能を総合的に向上させる。							
履修の条件・注意	留学生対象の授業であり、日本語総合演習Bと関連しているため、日本語総合演習Aの春学期履修が望ましい。							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経済学科DP3.他の人々と協働し、社会の一員として行動する能力と責任感を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP4.他の人々と協働し、企業をはじめとする組織の一員として活躍できる能力を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP3.他者と協働しながら主体的に判断し、リーダーシップをもって行動する力を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 法学部法律学科DP4.論理的な思考力と豊かな表現力とともに幅広い教養および実践感覚を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。 ②はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。 ③予め用意されたテキストから自然に離れて、聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる。そこで非常に流暢に、楽に表現ができる。 ④ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ⑤幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ⑥もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ⑦内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的/専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	プレゼンテーション発表の後、PPTのレイアウトは口頭発表の仕方(声の大きさ、態度等)の良かった点・改善点をコメントします。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議/グループワーク/プレゼンテーション、発表、報告							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	授業内でプリントを配布する							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	20	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	40	中間試験(%)	0
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)			
この科目の履修にあたって	日本語を使って、口頭発表を中心にする授業です。大学での学修に必要な日本語の力を身につけましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	ガイダンス(授業の流れ、評価の方法等の説明)	次回授業で扱う内容についての課題をする	2時間
第2回	読解(テーマ1)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第3回	読解(テーマ1)で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間

第4回	プレゼンテーションの方法を学ぶ	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	4時間
第5回	プレゼンテーションとフィードバック(1)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第6回	読解(テーマ2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第7回	読解テーマ2で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	4時間
第8回	プレゼンテーションとフィードバック(2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第9回	読解(テーマ3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第10回	読解テーマ3で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	6時間
第11回	プレゼンテーションとフィードバック(3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第12回	読解(テーマ4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第13回	読解 読解テーマ4で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	6時間
第14回	プレゼンテーションとフィードバック(4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第15回	総括	事後学修:自身の発表について振り返る	2時間

科目名	日本語総合演習A		開講年度	2021年度春学期				
担当者	高月 喜美		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②資料の内容をまとめる、③調べたことについて口頭で報告するといった練習を通して、主に「聞く・読む・話す」の3つの技能を総合的に向上させる。							
履修の条件・注意	留学生対象の授業であり、日本語総合演習Bと関連しているため、日本語総合演習Aの春学期履修が望ましい。							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経済学科DP3.他の人々と協働し、社会の一員として行動する能力と責任感を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP4.他の人々と協働し、企業をはじめとする組織の一員として活躍できる能力を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP3.他者と協働しながら主体的に判断し、リーダーシップをもって行動する力を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 法学部法律学科DP4.論理的な思考力と豊かな表現力とともに幅広い教養および実践感覚を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。 ②はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。 ③予め用意されたテキストから自然に離れて、聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる。そこで非常に流暢に、楽に表現ができる。 ④ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ⑤幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ⑥もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ⑦内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的/専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	プレゼンテーション発表の後、PPTのレイアウトは口頭発表の仕方(声の大きさ、態度等)の良かった点・改善点をコメントします。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議/グループワーク/プレゼンテーション、発表、報告							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	授業内でプリントを配布する							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	20	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	40	中間試験(%)	0
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)			
この科目の履修にあたって	日本語を使って、口頭発表を中心にする授業です。大学での学修に必要な日本語の力を身につけましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	ガイダンス(授業の流れ、評価の方法等の説明)	次回授業で扱う内容についての課題をする	2時間
第2回	読解(テーマ1)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第3回	読解(テーマ1)で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間

第4回	プレゼンテーションの方法を学ぶ	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	4時間
第5回	プレゼンテーションとフィードバック(1)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第6回	読解(テーマ2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第7回	読解テーマ2で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	4時間
第8回	プレゼンテーションとフィードバック(2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第9回	読解(テーマ3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第10回	読解テーマ3で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	6時間
第11回	プレゼンテーションとフィードバック(3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第12回	読解(テーマ4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第13回	読解 読解テーマ4で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	6時間
第14回	プレゼンテーションとフィードバック(4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第15回	総括	事後学修:自身の発表について振り返る	2時間

科目名	日本語総合演習A		開講年度	2021年度春学期				
担当者	伊澤 明香		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②資料の内容をまとめる、③調べたことについて口頭で報告するといった練習を通して、主に「聞く・読む・話す」の3つの技能を総合的に向上させる。							
履修の条件・注意	留学生対象の授業であり、日本語総合演習Bと関連しているため、日本語総合演習Aの春学期履修が望ましい。							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経済学科DP3.他の人々と協働し、社会の一員として行動する能力と責任感を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP4.他の人々と協働し、企業をはじめとする組織の一員として活躍できる能力を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP3.他者と協働しながら主体的に判断し、リーダーシップをもって行動する力を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 法学部法律学科DP4.論理的な思考力と豊かな表現力とともに幅広い教養および実践感覚を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。 ②はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。 ③予め用意されたテキストから自然に離れて、聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる。そこで非常に流暢に、楽に表現ができる。 ④ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ⑤幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ⑥もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ⑦内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的/専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	プレゼンテーション発表の後、PPTのレイアウトは口頭発表の仕方(声の大きさ、態度等)の良かった点・改善点をコメントします。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議/グループワーク/プレゼンテーション、発表、報告							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	授業内でプリントを配布する							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	20	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	40	中間試験(%)	0
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)			
この科目の履修にあたって	日本語を使って、口頭発表を中心にする授業です。大学での学修に必要な日本語の力を身につけましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時間を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	ガイダンス(授業の流れ、評価の方法等の説明)	次回授業で扱う内容についての課題をする	2時間
第2回	読解(テーマ1)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第3回	読解(テーマ1)で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間

第4回	プレゼンテーションの方法を学ぶ	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	4時間
第5回	プレゼンテーションとフィードバック(1)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第6回	読解(テーマ2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第7回	読解テーマ2で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	4時間
第8回	プレゼンテーションとフィードバック(2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第9回	読解(テーマ3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第10回	読解テーマ3で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	6時間
第11回	プレゼンテーションとフィードバック(3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第12回	読解(テーマ4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第13回	読解 読解テーマ4で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。プレゼンテーション用のPPTを作成してくる。	6時間
第14回	プレゼンテーションとフィードバック(4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第15回	総括	事後学修:自身の発表について振り返る	2時間

科目名	日本語総合演習B		開講年度	2021年度秋学期				
担当者	伊 惠彦		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②資料の内容をまとめる、③調べたことについてレポートを作成する練習を通して、主に「聞く・読む・書く」の3つの技能を総合的に向上させる。							
履修の条件・注意	留学生対象の授業であり、日本語総合演習Aと関連しているため、日本語総合演習Aの春学期履修が望ましい。							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経済学科DP3.他の人々と協働し、社会の一員として行動する能力と責任感を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP4.他の人々と協働し、企業をはじめとする組織の一員として活躍できる能力を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP3.他者と協働しながら主体的に判断し、リーダーシップをもって行動する力を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 法学部法律学科DP4.論理的な思考力と豊かな表現力とともに幅広い教養および実践感覚を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ②幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ③もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ④実際、もしくは想像上の出来事や経験について、複数の見解を相互に関連づけ、当該ジャンルの表記方法に従って、明瞭かつ詳細に記述文を書くことができる。 ⑤論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	レポート作成後、添削し、良かった点・改善点をコメントします。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	プリントを配布する							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	20	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	40	中間試験(%)	0
	レポート試験(%)	40	定期試験(%)	0	その他(%)	レポート試験は3回実施します。20%×3回の換算です。		
この科目の履修にあたって	日本語を使って、レポート作成の仕方を学ぶ授業です。大学での学修に必要な日本語の力を身につけましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	ガイダンス(授業の流れ、評価の方法等の説明)	事前学修: 次回授業で扱う内容についての課題をする	2時間
第2回	読解(テーマ1)	事後学修: 授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修: 次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第3回	読解(テーマ1)で読んだ内容をまとめる	事後学修: 授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修: 次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間

第4回	レポート作成方法を学ぶ	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第5回	レポート作成とフィードバック(1)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第6回	読解(テーマ2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第7回	読解テーマ2で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第8回	レポート作成とフィードバック(2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第9回	読解(テーマ3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第10回	読解テーマ3で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第11回	レポート作成とフィードバック(3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第12回	読解(テーマ4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第13回	読解 読解テーマ4で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第14回	レポート作成とフィードバック(4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第15回	総括	事後学修:学期中に書いたレポートを清書する	2時間

科目名	日本語総合演習B		開講年度	2021年度秋学期				
担当者	伊澤 明香		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②資料の内容をまとめる、③調べたことについてレポートを作成する練習を通して、主に「聞く・読む・書く」の3つの技能を総合的に向上させる。							
履修の条件・注意	留学生対象の授業であり、日本語総合演習Aと関連しているため、日本語総合演習Aの春学期履修が望ましい。							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経済学科DP3.他の人々と協働し、社会の一員として行動する能力と責任感を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP4.他の人々と協働し、企業をはじめとする組織の一員として活躍できる能力を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP3.他者と協働しながら主体的に判断し、リーダーシップをもって行動する力を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 法学部法律学科DP4.論理的な思考力と豊かな表現力とともに幅広い教養および実践感覚を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ②幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ③もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ④実際、もしくはは想像上の出来事や経験について、複数の見解を相互に関連づけ、当該ジャンルの表記方法に従って、明瞭かつ詳細に記述文を書くことができる。 ⑤論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	レポート作成後、添削し、良かった点・改善点をコメントします。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	プリントを配布する							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	20	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	40	中間試験(%)	0
	レポート試験(%)	40	定期試験(%)	0	その他(%)	レポート試験は3回実施します。20%×3回の換算です。		
この科目の履修にあたって	日本語を使って、レポート作成の仕方を学ぶ授業です。大学での学修に必要な日本語の力を身につけましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	ガイダンス(授業の流れ、評価の方法等の説明)	事前学修: 次回授業で扱う内容についての課題をする	2時間
第2回	読解(テーマ1)	事後学修: 授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修: 次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第3回	読解(テーマ1)で読んだ内容をまとめる	事後学修: 授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修: 次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間

第4回	レポート作成方法を学ぶ	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第5回	レポート作成とフィードバック(1)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第6回	読解(テーマ2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第7回	読解テーマ2で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第8回	レポート作成とフィードバック(2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第9回	読解(テーマ3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第10回	読解テーマ3で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第11回	レポート作成とフィードバック(3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第12回	読解(テーマ4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第13回	読解 読解テーマ4で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第14回	レポート作成とフィードバック(4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第15回	総括	事後学修:学期中に書いたレポートを清書する	2時間

科目名	日本語総合演習B		開講年度	2021年度秋学期				
担当者	高月 喜美		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②資料の内容をまとめる、③調べたことについてレポートを作成する練習を通して、主に「聞く・読む・書く」の3つの技能を総合的に向上させる。							
履修の条件・注意	留学生対象の授業であり、日本語総合演習Aと関連しているため、日本語総合演習Aの春学期履修が望ましい。							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経済学科DP3.他の人々と協働し、社会の一員として行動する能力と責任感を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP4.他の人々と協働し、企業をはじめとする組織の一員として活躍できる能力を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP3.他者と協働しながら主体的に判断し、リーダーシップをもって行動する力を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 法学部法律学科DP4.論理的な思考力と豊かな表現力とともに幅広い教養および実践感覚を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ②幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ③もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ④実際、もしくは想像上の出来事や経験について、複数の見解を相互に関連づけ、当該ジャンルの表記方法に従って、明瞭かつ詳細に記述文を書くことができる。 ⑤論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	レポート作成後、添削し、良かった点・改善点をコメントします。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	プリントを配布する							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	20	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	40	中間試験(%)	0
	レポート試験(%)	40	定期試験(%)	0	その他(%)	レポート試験は3回実施します。20%×3回の換算です。		
この科目の履修にあたって	日本語を使って、レポート作成の仕方を学ぶ授業です。大学での学修に必要な日本語の力を身につけましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	ガイダンス(授業の流れ、評価の方法等の説明)	事前学修: 次回授業で扱う内容についての課題をする	2時間
第2回	読解(テーマ1)	事後学修: 授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修: 次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第3回	読解(テーマ1)で読んだ内容をまとめる	事後学修: 授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修: 次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間

第4回	レポート作成方法を学ぶ	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第5回	レポート作成とフィードバック(1)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第6回	読解(テーマ2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第7回	読解テーマ2で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第8回	レポート作成とフィードバック(2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第9回	読解(テーマ3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第10回	読解テーマ3で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第11回	レポート作成とフィードバック(3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第12回	読解(テーマ4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第13回	読解 読解テーマ4で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第14回	レポート作成とフィードバック(4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第15回	総括	事後学修:学期中に書いたレポートを清書する	2時間

科目名	日本語総合演習B		開講年度	2021年度秋学期				
担当者	内田 元一		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②資料の内容をまとめる、③調べたことについてレポートを作成する練習を通して、主に「聞く・読む・書く」の3つの技能を総合的に向上させる。							
履修の条件・注意	留学生対象の授業であり、日本語総合演習Aと関連しているため、日本語総合演習Aの春学期履修が望ましい。							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経済学科DP3.他の人々と協働し、社会の一員として行動する能力と責任感を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP4.他の人々と協働し、企業をはじめとする組織の一員として活躍できる能力を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP3.他者と協働しながら主体的に判断し、リーダーシップをもって行動する力を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 法学部法律学科DP4.論理的な思考力と豊かな表現力とともに幅広い教養および実践感覚を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ②幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ③もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ④実際、もしくは想像上の出来事や経験について、複数の見解を相互に関連づけ、当該ジャンルの表記方法に従って、明瞭かつ詳細に記述文を書くことができる。 ⑤論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	レポート作成後、添削し、良かった点・改善点をコメントします。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	プリントを配布する							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	20	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	40	中間試験(%)	0
	レポート試験(%)	40	定期試験(%)	0	その他(%)	レポート試験は3回実施します。20%×3回の換算です。		
この科目の履修にあたって	日本語を使って、レポート作成の仕方を学ぶ授業です。大学での学修に必要な日本語の力を身につけましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	ガイダンス(授業の流れ、評価の方法等の説明)	事前学修: 次回授業で扱う内容についての課題をする	2時間
第2回	読解(テーマ1)	事後学修: 授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修: 次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第3回	読解(テーマ1)で読んだ内容をまとめる	事後学修: 授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修: 次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間

第4回	レポート作成方法を学ぶ	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第5回	レポート作成とフィードバック(1)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第6回	読解(テーマ2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第7回	読解テーマ2で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第8回	レポート作成とフィードバック(2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第9回	読解(テーマ3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第10回	読解テーマ3で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第11回	レポート作成とフィードバック(3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第12回	読解(テーマ4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第13回	読解 読解テーマ4で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第14回	レポート作成とフィードバック(4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第15回	総括	事後学修:学期中に書いたレポートを清書する	2時間

科目名	日本語総合演習B		開講年度	2021年度秋学期				
担当者	内田 元一		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②資料の内容をまとめる、③調べたことについてレポートを作成する練習を通して、主に「聞く・読む・書く」の3つの技能を総合的に向上させる。							
履修の条件・注意	留学生対象の授業であり、日本語総合演習Aと関連しているため、日本語総合演習Aの春学期履修が望ましい。							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経済学科DP3.他の人々と協働し、社会の一員として行動する能力と責任感を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP4.他の人々と協働し、企業をはじめとする組織の一員として活躍できる能力を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP3.他者と協働しながら主体的に判断し、リーダーシップをもって行動する力を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 法学部法律学科DP4.論理的な思考力と豊かな表現力とともに幅広い教養および実践感覚を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ②幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ③もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ④実際、もしくは想像上の出来事や経験について、複数の見解を相互に関連づけ、当該ジャンルの表記方法に従って、明瞭かつ詳細に記述文を書くことができる。 ⑤論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	レポート作成後、添削し、良かった点・改善点をコメントします。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	プリントを配布する							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	20	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	40	中間試験(%)	0
	レポート試験(%)	40	定期試験(%)	0	その他(%)	レポート試験は3回実施します。20%×3回の換算です。		
この科目の履修にあたって	日本語を使って、レポート作成の仕方を学ぶ授業です。大学での学修に必要な日本語の力を身につけましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	ガイダンス(授業の流れ、評価の方法等の説明)	事前学修: 次回授業で扱う内容についての課題をする	2時間
第2回	読解(テーマ1)	事後学修: 授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修: 次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第3回	読解(テーマ1)で読んだ内容をまとめる	事後学修: 授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修: 次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間

第4回	レポート作成方法を学ぶ	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第5回	レポート作成とフィードバック(1)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第6回	読解(テーマ2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第7回	読解テーマ2で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第8回	レポート作成とフィードバック(2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第9回	読解(テーマ3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第10回	読解テーマ3で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第11回	レポート作成とフィードバック(3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第12回	読解(テーマ4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第13回	読解 読解テーマ4で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第14回	レポート作成とフィードバック(4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第15回	総括	事後学修:学期中に書いたレポートを清書する	2時間

科目名	日本語総合演習B		開講年度	2021年度秋学期				
担当者	茶園 直人		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②資料の内容をまとめる、③調べたことについてレポートを作成する練習を通して、主に「聞く・読む・書く」の3つの技能を総合的に向上させる。							
履修の条件・注意	留学生対象の授業であり、日本語総合演習Aと関連しているため、日本語総合演習Aの春学期履修が望ましい。							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経済学科DP3.他の人々と協働し、社会の一員として行動する能力と責任感を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP4.他の人々と協働し、企業をはじめとする組織の一員として活躍できる能力を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP3.他者と協働しながら主体的に判断し、リーダーシップをもって行動する力を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 法学部法律学科DP4.論理的な思考力と豊かな表現力とともに幅広い教養および実践感覚を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ②幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ③もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ④実際、もしくはは想像上の出来事や経験について、複数の見解を相互に関連づけ、当該ジャンルの表記方法に従って、明瞭かつ詳細に記述文を書くことができる。 ⑤論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	レポート作成後、添削し、良かった点・改善点をコメントします。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	プリントを配布する							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	0	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	40	中間試験(%)	0
	レポート試験(%)	60	定期試験(%)	0	その他(%)	レポート試験は3回実施します。20%×3回の換算です。		
この科目の履修にあたって	日本語を使って、レポート作成の仕方を学ぶ授業です。大学での学修に必要な日本語の力を身につけましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	ガイダンス(授業の流れ、評価の方法等の説明)	事前学修: 次回授業で扱う内容についての課題をする	2時間
第2回	読解(テーマ1)	事後学修: 授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修: 次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第3回	読解(テーマ1)で読んだ内容をまとめる	事後学修: 授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修: 次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間

第4回	レポート作成方法を学ぶ	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第5回	レポート作成とフィードバック(1)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第6回	読解(テーマ2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第7回	読解テーマ2で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第8回	レポート作成とフィードバック(2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第9回	読解(テーマ3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第10回	読解テーマ3で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第11回	レポート作成とフィードバック(3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第12回	読解(テーマ4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第13回	読解 読解テーマ4で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第14回	レポート作成とフィードバック(4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第15回	総括	事後学修:学期中に書いたレポートを清書する。	2時間

科目名	日本語総合演習B		開講年度	2021年度秋学期				
担当者	片岡 浩史		配当年次	1234				
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html		単位数	2単位				
			授業形態(方法)	演習(外国語)				
グレード	G2							
科目区分	日本語及び日本事情に関する科目							
テーマ	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。							
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②資料の内容をまとめる、③調べたことについてレポートを作成する練習を通して、主に「聞く・読む・書く」の3つの技能を総合的に向上させる。							
履修の条件・注意	留学生対象の授業であり、日本語総合演習Aと関連しているため、日本語総合演習Aの春学期履修が望ましい。							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経済学科DP3.他の人々と協働し、社会の一員として行動する能力と責任感を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP4.他の人々と協働し、企業をはじめとする組織の一員として活躍できる能力を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP3.他者と協働しながら主体的に判断し、リーダーシップをもって行動する力を身につけている。 法学部法律学科DP3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。 法学部法律学科DP4.論理的な思考力と豊かな表現力とともに幅広い教養および実践感覚を身につけている。 国際学部国際学科DP2.英語を中心として、国際コミュニケーションに必要なコミュニケーションのツールとスキルを活用する能力を修得している。							
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ②幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ③もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ④実際、もしくは想像上の出来事や経験について、複数の見解を相互に関連づけ、当該ジャンルの表記方法に従って、明瞭かつ詳細に記述文を書くことができる。 ⑤論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	レポート作成後、添削し、良かった点・改善点をコメントします。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	プリントを配布する							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	20	小テスト・理解度テストなど(%)	0	レポートなど授業外課題(%)	40	中間試験(%)	0
	レポート試験(%)	40	定期試験(%)	0	その他(%)	レポート試験は3回実施します。20%×3回の換算です。		
この科目の履修にあたって	日本語を使って、レポート作成の仕方を学ぶ授業です。大学での学修に必要な日本語の力を身につけましょう。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	ガイダンス(授業の流れ、評価の方法等の説明)	事前学修: 次回授業で扱う内容についての課題をする	2時間
第2回	読解(テーマ1)	事後学修: 授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修: 次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第3回	読解(テーマ1)で読んだ内容をまとめる	事後学修: 授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修: 次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間

第4回	レポート作成方法を学ぶ	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第5回	レポート作成とフィードバック(1)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第6回	読解(テーマ2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第7回	読解テーマ2で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第8回	レポート作成とフィードバック(2)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第9回	読解(テーマ3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第10回	読解テーマ3で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第11回	レポート作成とフィードバック(3)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第12回	読解(テーマ4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。	4時間
第13回	読解 読解テーマ4で読んだ内容をまとめる	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする。 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする。レポート用の原稿を作成してくる。	6時間
第14回	レポート作成とフィードバック(4)	事後学修:授業で読んだ内容についての課題をする 事前学修:次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第15回	総括	事後学修:学期中に書いたレポートを清書する	2時間

科目名	日本事情入門	開講年度	2021年度春学期					
担当者	呉 紅敏	配当年次	1234					
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html	単位数	2単位					
		授業形態(方法)	講義					
グレード	G1							
科目区分	共通教育科目							
テーマ	日本の社会と文化							
授業の目的及び概要	この授業は留学生を対象とした科目です。授業では、日本の社会と文化等様々な領域に関する基礎的で、一般的な知識を履修生と共有することで、留学生の日本に対する理解を深めることを目指します。具体的には、留学生が速やかに異国での留学生活や大学での教育環境に適応できるように、また、日本の社会・経済・文化について大学生として知っておくことが望ましい基礎的な知識を獲得し、日本の社会の全体像がある程度理解できるようにすることが目標です。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です。							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP4.論理的な思考力と豊かな表現力とともに幅広い教養および実践感覚を身につけている。 国際学部国際学科DP1.グローバル化する現代社会の諸問題を理解し、理論と知識をもってその解決に向けて自ら考え、取り組む姿勢を身につけている。							
学修の到達目標	来日したばかりの留学生が速やかに異国での留学生活や大学での教育環境に適応できるように、また日本社会・経済・文化について大学生として知っておくことが望ましい最も基本的な基礎的な知識を獲得できることを目標としています。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	提出された課題は添削して返却します。							
アクティブ・ラーニングの取組み	実習、フィールドワーク、学外見学							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	特に指定してません。毎回の授業にて、レジュメを配布致します。							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	40	小テスト・理解度テストなど(%)	10	レポートなど授業外課題(%)	0	中間試験(%)	10
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)			
この科目の履修にあたって	上記の「成績評価の基準・方法」をよく理解したうえで履修登録をしてください。無断欠席をする学生や受講態度の悪い学生は、評価が非常に低くなります。受講生の興味関心や日本語能力に応じて、授業計画を変更することがあります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時間を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	日本での充実した留学生活に向けて	授業後、レジュメや三菱総合研究所他(2017)『最新情報版 大学生が狙われる50の危険』青春出版社などを読んで復習しましょう(4時間程度)。	2時間
第2回	日本の国土と自然①(面積、人口、気候など)	授業後に、レジュメや参考書のpp. 13—20(「Unit 1 日本ってどんな国?」)などを読んで復習しましょう(4時間程度)。	2時間
第3回	日本の国土と自然②(火山、森林、地震など)	授業後に、レジュメや参考書のpp. 13—20(「Unit 1 日本ってどんな国?」)などを読んで復習しましょう(4時間程度)。	2時間
第4回	日本の政治①(憲法、三権分立、議院内閣制)	授業後に、レジュメや参考書のpp. 137—144(「Unit 14 政治と憲法」)などを読んで復習しましょう(4時間程度)。	2時間
第5回	日本の政治②(国会、選挙)	授業後に、レジュメや参考書のpp. 137—144(「Unit 14 政治と憲法」)などを読んで復習しましょう(4時間程度)。	2時間
第6回	日本の経済①(産業構造、輸出品目とその規模など)	授業後に、レジュメや参考書のpp. 129—136(「Unit 13 産業構造と経済」)などを読んで復習しましょう(4時間程度)。	2時間

第7回	日本の経済②(国際化、今後の展望など)	授業後に、レジュメや参考書のpp. 129—136(「Unit 13 産業構造と経済」)などを読んで復習しましょう(4時間程度)。	2時間
第8回	日本の教育①(少子高齢化問題)	授業後に、レジュメや参考書のpp. 121—128(「Unit 12 教育と子供たち」)などを読んで復習しましょう(4時間程度)。	2時間
第9回	日本の教育②(学校制度、教育内容など)	授業後に、レジュメや参考書のpp. 121—128(「Unit 12 教育と子供たち」)などを読んで復習しましょう(4時間程度)。	2時間
第10回	剣道体験(予定)	剣道を通じて体験した武士道精神について説明した本に触れてみましょう。『葉隠』、新渡戸稲造『武士道』、宮本武蔵『五輪書』などが有名です。これらの本の日本語が難しい場合には、漫画『バガボンド』を読んでみましょう(4時間程度)。	2時間
第11回	日本の伝統文化①(茶道、華道、歌舞伎など)	授業後に、レジュメや参考書のpp. 77—88(「Unit 7 伝統文化体験」)などを読んで復習しましょう(4時間程度)。	2時間
第12回	日本の伝統文化②(詩歌、盆踊りなど)	授業後に、レジュメや参考書のpp. 77—88(「Unit 7 伝統文化体験」)などを読んで復習しましょう(4時間程度)。	2時間
第13回	日本を知るための映画鑑賞(葬式を題材とした『おくりびと』や、茶道を題材とした『日日是好日』などを予定)	これまでに学んだ日本の文化がどのように描かれているか、自分の国の文化と同じ点や違う点はどこかなどについて、映画を振り返りながら整理しておきましょう。また、映画にでてきた日本語や日本の習俗について、知らなかったものは調べておきましょう(4時間程度)。	2時間
第14回	日本の歴史(古墳見学を含む予定)	授業後に、レジュメや参考書のpp. 65—76(「Unit 6 知っておきたい日本の歴史」)などを読んで復習しましょう(4時間程度)。	2時間
第15回	講義の総括	授業後に、これまでのレジュメや参考書などを読んで復習しましょう(4時間程度)。	2時間

科目名	現代日本事情	開講年度	2021年度秋学期					
担当者	呉 紅敏	配当年次	1234					
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/numbering.html	単位数	2単位					
		授業形態(方法)	講義					
グレード	G1							
科目区分	共通教育科目							
テーマ	現代日本事情と国民生活							
授業の目的及び概要	この授業は留学生を対象とした科目です。授業では、グローバル化、情報化、少子高齢化等の進展を踏まえ、現代日本の社会事情について広くかつ具体的に学び、それらに関する豊かな理解と知識を修得することを目的とします。具体的には、日本の社会問題や直面する諸課題をとり上げ、国際比較研究の成果をふまえて解説します。そして、留学生の生まれ育った国と日本との文化・習慣・価値観の違いやステレオタイプ化された日本像等の検討を通して、現代日本社会を読み解くことのできる基礎的知識・理解の向上を図ります。							
履修の条件・注意	本科目は留学生を対象とした科目です。							
DPとの関連	本科目は、以下の学位授与の方針(DP)と関連した科目です。 経済学部経済学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経済学部経営学科DP1.日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 経営学部経営学科DP2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び英語運用能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。 法学部法律学科DP4.論理的な思考力と豊かな表現力とともに幅広い教養および実践感覚を身につけている。 国際学部国際学科DP1.グローバル化する現代社会の諸問題を理解し、理論と知識をもってその解決に向けて自ら考え、取り組む姿勢を身につけている。							
学修の到達目標	現代日本社会に関連するテーマを取り上げ、その現状と課題について理解できるように解説します。主に、日本人口問題、環境問題、外国人問題、社会保障問題などの検討を通して、現代日本社会の現状や抱えている問題点などを読み解くことのできる授業を目指します。							
授業の方法	この科目は対面授業で行われます。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況等により授業方法が途中で変更となる場合があります。							
フィードバックの方法	提出された課題は添削して返却します。							
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議							
実務経験のある教員による授業科目								
テキスト	特に指定してません。毎回の授業で、レジュメを配布致します。							
参考書								
成績評価の方法・基準	積極的な参加度・取組み(%)	25	小テスト・理解度テストなど(%)	25	レポートなど授業外課題(%)	0	中間試験(%)	10
	レポート試験(%)	0	定期試験(%)	40	その他(%)			
この科目の履修にあたって	上記の「成績評価の基準・方法」をよく理解したうえで履修登録をしてください。無断欠席をする学生や受講態度の悪い学生は、評価が非常に低くなります。受講生の興味関心や日本語能力に応じて、授業計画を変更することがあります。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワー受付曜日・時間・場所については、本学Webサイトの「オフィスアワー」ページに掲載しています。 <アクセス方法> 大学Webサイトの[トップページ]→[キャンパスライフ]→[教務情報]→[オフィスアワー] <URL> http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/affairs/officehour.html 授業の内容や学習上の問題などについて質問や相談を行いたい場合は、実施曜日・時限を確認のうえ実施場所を訪れてください。 ※なお、非専任講師については、担当授業前、終了後の教室や講師控室等での質問、相談を受け付けています。							

授業回	授業計画	事前事後学修(予習・復習等)	事前事後の学修時間
第1回	本講義についての説明	本講義については事前学習は必要ありません。授業中に紹介した参考書やニュースサイトなどを確認し、レジュメを読んで復習しましょう。	4時間
第2回	日本社会の課題①(少子高齢化、地方創生など)	授業後に、レジュメや参考書のpp. 21—28(「Unit 2 都市の暮らし・地方の暮らし」)などを読んで復習しましょう。	4時間
第3回	日本社会の課題②(伝統文化復興、食料自給率など)	授業後に、レジュメや参考書のpp. 21—28(「Unit 2 都市の暮らし・地方の暮らし」)などを読んで復習しましょう。	4時間
第4回	日本社会の課題③(外国人労働者、観光立国化など)	授業後に、レジュメや参考書のpp. 145—152(「Unit 15 多文化共生社会を目指して」)などを読んで復習しましょう。	4時間
第5回	日本社会の課題④(地球温暖化、原発、持続可能社会など)	授業後に、レジュメや参考書のpp. 113—120(「Unit 11 地球のためにできること」)などを読んで復習しましょう。	4時間

第6回	剣道体験(予定)	剣道を通じて体験した武士道精神について説明した本に触れてみましょう。『葉隠』、新渡戸稲造『武士道』、宮本武蔵『五輪書』などが有名です。これらの本の日本語が難しい場合には、漫画『バガボンド』を読んでみましょう。	4時間
第7回	日本のスポーツ文化(相撲、野球、サッカーなど)	授業後に、レジュメや参考書のpp. 97—104(「Unit 9 スポーツの楽しみ方」)を読んで復習しましょう。	4時間
第8回	日本の現代文化(漫画、アニメ、J-POP、ゆるキャラ、kawaiiなど)	授業後に、レジュメや参考書のpp. 89—96(「Unit 8 現代文化とポップカルチャー」)を読んで復習しましょう。	4時間
第9回	日本の現代文化に触れるためのアニメ映画鑑賞(『君の名は。』や『この世界の片隅に』など近年の話題作を予定)	日本の伝統文化と現代文化の相違点、自分の国の文化との相違点などについて考察し、整理しておきましょう。また、アニメ映画にでてきた日本語や日本の習俗について、知らなかったものは調べておきましょう。	4時間
第10回	日本の食文化(学校給食、和食、水、ご当地グルメなど)	授業後に、レジュメや参考書のpp. 41—52(「Unit 4 いただきます!」)を読んで復習しましょう。	4時間
第11回	日本の伝統行事①(1月～6月)	授業後に、レジュメや参考書のpp. 53—64(「Unit 5 季節を楽しむ年中行事」)を読んで復習しましょう。	4時間
第12回	日本の伝統行事②(7月～12月)	授業後に、レジュメや参考書のpp. 53—64(「Unit 5 季節を楽しむ年中行事」)を読んで復習しましょう。	4時間
第13回	現代日本における伝統文化を知るための映画鑑賞(小倉百人一首競技カルタを題材とした『ちはやふる』を予定)	日本の伝統文化が現代生活にどのように残っているのかについて、自分の国の現状と比較しながら考察し、整理しておきましょう。また、映画にでてきた百人一首の歌、日本語や日本の習俗について、知らなかったものは調べておきましょう。	4時間
第14回	日本の伝統文化体験(カルタ取りの予定)	百人一首やカルタといった、日本の伝統的な遊びを調べてみましょう。また、『ちはやふる』のように日本の伝統文化を題材とした漫画やアニメを調べ、鑑賞してみましょう。囲碁を題材とした『ヒカルの碁』や、将棋を題材とした『3月のライオン』、柔道を題材とした『YAWARA!』などがあります。	4時間
第15回	講義の総括	授業後に、これまでのレジュメや参考書などを読んで復習しましょう。	4時間